Pioneer

DJ コントローラー

DDJ-SZ

serato || serato DJ

http://pioneerdj.com/support/

上記のPioneer DJサポートサイトでは、困ったときのよくある質問やソフトウェアの情報など、より快適に製品をお使いいただくための各種情報やサービスを提供しております。

http://serato.com/

最新版のSerato DJ ソフトウェアはSerato.com にアクセスしてダウンロードしてください。

取扱説明書

もくじ

本書の見かた

- このたびは、パイオニア製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
  この冊子と、本機に付属している「取扱説明書（基礎編）」を必ずお読みください。両方とも、この製品の使用前にご理解いただくべき重要事項が含まれています。
  Serato DJ のソフトウェアマニュアルの入手方法については、「マニュアルを入手する」(p.34) をご覧ください。
- 本書では、製品本体およびコンピューター画面に表示される画面名、メニュー名、ボタン名および端子名などを、[ ] で囲んで記載しています。（例：[**CUE**] ボタン、[**Files**] パネル、[**MIC1**] 端子）
- 本書で説明しているソフトウェアの画面と仕様、およびハードウェアの外観と仕様は、開発途中のものであり、最終仕様と異なる場合がありますがご了承ください。
- 本書で説明している手順については、OS のバージョン、ウェブブラウザーの設定などにより記載の動作と異なる場合がありますがご了承ください。

本書は、本機のハードウェアとしての機能を中心に説明が構成されています。詳しい Serato DJ ソフトウェアの操作については、Serato DJ のソフトウェアマニュアルをご覧ください。

- Serato DJ のソフトウェアマニュアルは、「Serato.com」からダウンロードできます。詳細については、「Serato DJ のソフトウェアマニュアルをダウンロードする」(p.34) をご覧ください。
- 最新版の取扱説明書（本書）は、Pioneer サポートサイトからダウンロードできます。詳細については、「最新版の取扱説明書をダウンロードする」(p.34) をご覧ください。

01 はじめに
本機の特長 3
付属品を確認する 4
ソフトウェアをインストールする 4

02 接続および各部の名称
接続する 6
各部の名称とはたらき 8

03 操作する（基本編）
接続する 13
システムを起動する 14
システムを終了する 16

04 操作する（応用編）
パフォーマンスパッドを使う 17
スリップを使う 18
フェーダースタート機能を使う 19
サンプラーベロシティを使う 19
クロスフェーダーの操作負荷を調整する 20
曲を解析する 20
エフェクトを使う 20
SOUND COLOR FX を使う 21
オシレーター機能を使う 21
エフェクトの種類 22
外部入力を使う 22

05 設定を変更する
ユーティリティーモードを起動する 24
ユーティリティーモード 24
設定ユーティリティーについて 26

06 DVS システムを使う
Serato DJ ソフトウェアをコントロールする前に 28
Serato DJ ソフトウェアをコントロールする 29

07 その他
故障かな？と思ったら 32
シグナルフロー 33
マニュアルを入手する 34
他の DJ ソフトウェアのコントローラーとして使用する 34
保証とアフターサービス 35
商標および登録商標について 35
著作権についてのご注意 35

はじめに

本機の特長

本機は、思いどおりのスクラッチ演奏を可能にする「BIG JOG」、ホットキュー、サンプラー等の機能を用いてたたく･連打する等のダイナミックなアクションで楽曲にアレンジを加えられる「PERFORMANCE PADS」、4 デッキ機能を使ったマルチトラックミックスに対応する「4-CHANNEL MIXER」などの各操作インターフェイスに余裕をもって配置しており、「Serato DJ」を使った個性的な DJ パフォーマンスが可能です。
また、「SOUND COLOR FX」や「OSCILLATOR」を搭載しており、再生中の楽曲に対しオリジナルのアレンジを加えることができます。
さらに、豊富な入出力端子を装備しさまざまな DJ スタイルに対応するとともに、トップパネルにアルミ材を使うことで高級感のあるデザインに仕上げており、クラブやホームパーティーなどさまざまなシーンに対応しています。

BIG JOG

ジョグを操作してからソフトウェアに操作信号が伝送されるまでの時間を業界最短にするとともに、スムーズな操作性で思いどおりのスクラッチ演奏が可能な大型のジョグ「BIG JOG」を搭載しています。
ジョグ中央部には楽曲の再生状態や現在の再生位置を表示する「ON JOG DISPLAY」を搭載しており、より正確な操作でスクラッチ演奏をすることができます。また、CDJ シリーズで好評の「JOG FEELING ADJUST」を搭載しています。スクラッチ演奏時の操作負荷や、バックスピンの継続時間等を好みに応じて調整できます。

MULTI-COLOR PERFORMANCE PADS

ホットキュー、サンプラー等の機能を割り当てて操作できるラバー製の大型パッド「PERFORMANCE PADS」を本体手前に配置しました。
たたく･連打するなどのダイナミックなアクションで楽曲にアレンジを加えられるとともに、たたく強さにより音量に強弱をつけることもできます。
また、各パッドはマルチカラーイルミネーションを内蔵しており、選択されているパッドモードや各パッドの演奏状態をイルミネーションの色と点灯状態により瞬時に把握することができます。

4-CHANNEL MIXER

4 つのデッキで再生している楽曲を､それぞれ独立して操作できる「4-CHANNEL MIXER」を搭載しています。4 つの楽曲をさまざまにミックスすることで、より個性的な DJ ミックスを行えます。
マスター部、および各チャンネルの操作インターフェイスのそばに、レベルメーターをそれぞれ配置しており、各入力および出力のレベルを瞬時に把握できます。
また、DJ ミキサーの世界標準であるパイオニア DJM シリーズの操作パネルレイアウトを継承しています。
シンプルでわかりやすい操作パネルレイアウトは、DJ パフォーマンスしやすいだけでなく初めて使う DJ も迷わず操作できるので、クラブ常設機器としても安心してお使いいただけます。

OSCILLATOR

4 種類の音 (NOISE、CYMBAL、SIREN、HORN) を発音する「OSCILLATOR」機能を搭載しています。出力したい音の種類のボタンを押すだけのシンプルな操作で、再生中の楽曲にオシレーター音を重ねたり、楽曲の盛り上がりをさらに強調したりするなど、新たな楽曲展開を作り出すことができます。また、[**OSCILLATOR PARAMETER**] ツマミを回すことで音色が変化するので、楽曲に合わせたオシレーター音を発音することができます。

SOUND COLOR FX

楽曲の幅広いアレンジを実現する｢SOUND COLOR FX｣機能を 4 種類 (ECHO、JET、PITCH、FILTER) 搭載しました。
ツマミを回すだけでイメージどおりの効果を得ることができ､楽曲にオリジナルアレンジを加えるなど、多彩なリミックスが可能です。
また、「Serato DJ」から BPM 情報を取得することができるので、再生している曲の BPM に連動した ECHO の効果を加えられることができます。

PLUG AND PLAY DUAL USB PORT

本機はコンピューター接続するための USB サウンドカードを 2 つ搭載しており、コンピューターを同時に 2 台接続することができます。
本機のサウンドカード､およびすべてのボタン､ツマミはあらかじめ「Serato DJ」と連動するよう設定してあるので、面倒な設定をすることなくすぐに「Serato DJ」を使った DJ プレイを始められます。
また､天面に搭載した USB セレクターで 2 つのサウンドカードをワンアクションで切り替えることができます。この機能により DJ 交代の際､音をとぎらせることなくスムーズに 2 台のコンピューターを入れ換えることができます。

Flexible Connectivity

CD プレーヤーやアナログターンテーブルなどを接続できる外部入力を 4 系統、MIC 入力を 2 系統備えています。
コンピューターを介さずにミックスできるので、単体の DJ ミキサーとしても使用できます。
また、出力にはプロ用の PA 機器にも対応できるよう、MASTER OUT を 2 系統、BOOTH OUT を 1 系統を搭載しています。
あらゆるパーティーシーンや DJ プレイスタイルに対応することができます。

DVS Supported

本機のサウンドカードは「Serato DJ」の DVS (Digital Vinyl System) 機能に対応しています。
外部入力端子に接続したプレーヤーで再生したコントロールトーンディスク (「Serato DJ」を操作するための専用ディスク (別売)) からの信号を、本機のサウンドカード経由でコンピューターに出力し「Serato DJ」のデッキを操作することが可能です。

DURABLE FADER

フェーダーノブを 2 本の金属シャフトで支持するスライド構造をクロスフェーダーとチャンネルフェーダーに採用しています。
ぐらつきのないスムーズな操作を実現するとともに、高い耐久性を実現しました。
また、液体や粉塵によるフェーダー内部への影響も最小限に抑えています。
クロスフェーダーにはスクラッチプレイに対応するため､独自開発した磁気方式の「MAGVEL FADER」を搭載し、操作可能回数 1,000 万回以上の高い耐久性と細かな操作性を実現しました。
チャンネルフェーダーでは、当社従来機種 (DJM-800) に比べて約 3 倍の操作耐久性を実現しました。

HIGH SOUND QUALITY

当社クラブ向け機器のオーディオ回路を踏襲し、原音に忠実でパワフルな音質を実現。電源ケーブルとの接触面積が広いタイプの AC インレットの採用により接触抵抗を低減し、大音量環境下の DJ ブースでも安定したパワフルなサウンドを実現しています。
また、Wolfson Microelectronics 社製の高性能 D/A コンバーターおよび低ジッター水晶発振器を採用することで、原音を忠実に再現しクリアでパワフルなクラブサウンドを実現しています。

Professional Quality Design

トップパネル、およびジョグプレートにアルミ材を使用し、高級感のあるデザインに仕上げました。
クラブ、ホームパーティーなどのシーンで、DJ パフォーマンスを演出します。

SLIP MODE

ループ / スクラッチ / ホットキュー等のプレイ中にバックグラウンドで音楽が進み続ける「SLIP MODE」機能を搭載。これにより､ループ / スクラッチ / ホットキュー等のプレイ後でも原曲の展開を変えることなく DJ パフォーマンスすることができます。

NEEDLE SEARCH

タッチパッドを指で触れるだけで､タッチしたポイントを瞬時にサーチすることができます。直接楽曲に触れる感覚で直感的､かつスピーディーなサーチを実現します。

付属品を確認する

- CD-ROM (インストールディスク)
- 電源コード
- USB ケーブル [1]
- 保証書 (一部の地域)[2]
- 取扱説明書 (基礎編)

[1] 本機には USB ケーブルは 1 本しか付属されておりません。
2 台接続時には、USB 2.0 に準拠したケーブルをお使いください。

[2] 日本向け、欧州向け製品のみ。(北米地域は「取扱説明書 (基礎編)」の英語、フランス語それぞれの最終ページに該当内容が記載されています。)

ソフトウェアをインストールする

ソフトウェアをインストールする前に

最新版の Serato DJ ソフトウェアは Serato.com にアクセスしてダウンロードしてください。付属の CD-ROM にも、ソフトウェアのダウンロードリンクが収録されています。
- 詳細は「インストール手順 (Windows)」または「インストール手順 (Mac OS X)」を参照してください。
- インターネットの接続に必要なコンピューター、ネットワーク機器、その他のインターネット利用環境はお客様でご用意ください。

ドライバソフトウェアについて

本ドライバソフトウェアは、コンピューターからの音声を出力するための専用ドライバです。
- はじめに 34 ページの「ソフトウェア使用許諾契約書」をよくお読みください。

ドライバソフトウェアの最新情報を確認する

本機の専用ドライバソフトウェアの最新情報については、下記の Pioneer DJ サポートサイトを参照してください。
http://pioneerdj.com/support/

Serato DJ ソフトウェアについて

Serato DJ は Serato 社製の DJ ソフトウェアです。このソフトウェアをインストールしたコンピューターと本機を接続して DJ プレイを楽しむことができます。

最低動作環境

対応 OS		CPU および必要メモリー
Mac OS X:10.9、10.8、10.7、10.6	32 ビット版	Intel® プロセッサ、Core™ i3、i5 および i7 1.07 GHz 以上、Intel® プロセッサ、Core™ 2 Duo 2.0 GHz 以上
		2 GB 以上の RAM
	64 ビット版	Intel® プロセッサ、Core™ i3、i5 および i7 1.07 GHz 以上、Intel® プロセッサ、Core™ 2 Duo 2.4 GHz 以上
		4 GB 以上の RAM
Windows: Windows 7	32 ビット版	Intel® プロセッサ、Core™ i3、i5 および i7 1.07 GHz 以上、Intel® プロセッサ、Core™ 2 Duo 2.0 GHz 以上
		2 GB 以上の RAM
	64 ビット版	Intel® プロセッサ、Core™ i3、i5 および i7 1.07 GHz 以上、Intel® プロセッサ、Core™ 2 Duo 2.4 GHz 以上
		4 GB 以上の RAM

その他	
光学ドライブ	CD-ROM の読み込みが可能な光ディスクドライブ
USB ポート	コンピューターと本機を接続するために USB 2.0 ポートが必要です。
ディスプレイ解像度	1 280 x 720 以上の解像度
インターネット接続	「Serato.com」のユーザーアカウントの登録やソフトウェアのダウンロードのため、インターネット接続環境が必要です。

- 最新の動作環境、互換性、および最新の OS システムを取得するには、下記の Pioneer DJ サポートサイトの「**DDJ-SZ**」の「**ソフトウェア対応情報**」を参照してください。
http://pioneerdj.com/support/
- OS は最新のバージョン、サービスパックをお使いください。
- 記載の動作環境を満たしているすべてのコンピューターにおける動作を保証するものではありません。
- コンピューターの省電力設定などの状態によっては、CPU やハードディスクの処理能力を十分に発揮できないことがあります。特にノート型コンピューターをお使いのときは、AC 電源を接続するなどして、常に高パフォーマンス状態のセッティングで Serato DJ をお使いください。
- インターネットをお使いになるときは、インターネットサービスを提供しているプロバイダーとの契約・料金が別途必要です。

インストール手順 (Windows)

インストールが完了するまでは、本機とコンピューターを接続しないでください。

- コンピューターの管理者に設定されているユーザーでログイン (またはログオン) してからインストールしてください。
- コンピューター上で他に作業中のプログラムがあれば、すべて終了させてください。

1 CD-ROM をコンピューターの光学ドライブに挿入する

CD-ROM のメニューが表示されます。
- CD-ROM を挿入しても CD-ROM のメニューが表示されないときは、[**スタート**] メニューの [**コンピューター** (または**マイコンピュータ**)] から光学ドライブを開き [**CD_menu.exe**] のアイコンをダブルクリックしてください。

2 表示されたメニューから [ドライバソフトウェアをインストールする] を選んで [開始] をクリックする

3「最新版をダウンロードしますか？接続にはインターネット環境が必要です。」と表示されるので、[はい] をクリックする

ウェブブラウザーが起動し、Pioneer DJ サポートサイトが表示されます。

4 Pioneer DJ サポートサイトで [DDJ-SZ] の [ソフトウェアダウンロード] をクリックする

5 [ドライバソフトウェア] をクリックする

6 ダウンロードページの中から Windows 用のドライバソフトウェア (DDJ-SZ_X.XXX.exe) をダウンロードする

7 ダウンロードしたファイルをダブルクリックする

ドライバのインストール画面が表示されます。

8「ソフトウェア使用許諾契約書」をよく読み、「ソフトウェア使用許諾契約書」に同意するときは、[同意する] にチェックを入れてから [OK] をクリックする

「ソフトウェア使用許諾契約書」に同意いただけないときは、[**キャンセル**] をクリックして、インストールを中止してください。

9 画面の指示に従ってインストールする

インストールの途中で [**Windows セキュリティ**] 画面が表示されることがありますが、[**このドライバソフトウェアをインストールします**] をクリックしてインストールを続行してください。
インストールプログラムが終了すると終了メッセージが表示されます。
ドライバソフトウェアのインストールに続いて、Serato DJ ソフトウェアのインストールを行ってください。

10CD-ROM のメニューの [Serato DJ をダウンロードする] を選んで [開始] をクリックする

11「接続にはインターネット環境が必要です。インターネットに接続しますか？」と表示されるので、[はい] をクリックする

ウェブブラウザーが起動し、Pioneer DJ サポートサイトが表示されます。

12Pioneer DJ サポートサイトで [DDJ-SZ] の [ソフトウェア対応情報] をクリックする

13Serato DJ のダウンロードページへのリンクをクリックする

Serato DJ のダウンロードページが表示されます。

14「Serato.com」のユーザーアカウントでログインする

- すでに「Serato.com」のユーザーアカウントを登録されているお客様は、手順 16 にお進みください。
- ユーザーアカウントの登録が完了していないお客様は、以下の操作をしてユーザーアカウントの登録を行ってください。
  — 画面の指示に従って、E-mail アドレス、設定したいパスワードを入力し、お住まいの地域を選択してください。
  — [**E-mail me Serato newsletters**] にチェックを入れると、Serato 社からのニュースレターが送信され、Serato 社製品の最新情報を入手できます。
  — ユーザーアカウント登録が完了すると、入力した E-mail アドレスに E-mail が送信されますので、「Serato.com」から送信された E-mail の内容を確認してください。
- ユーザー登録の際にご指定いただきましたお客様の E-mail アドレスとパスワードは、お忘れにならないように十分ご注意ください。ソフトウェアのアップデートをするときに必要になります。
- 新規ユーザーアカウントの登録時に入力する個人情報は、Serato 社ウェブサイトの個人情報保護方針に基づき、収集、処理、使用されます。

15「Serato.com」から送信された E-mail に記載されているリンク先をクリックする

Serato DJ のダウンロードページに進みます。手順 17 にお進みください。

16ログインする

登録した E-mail アドレスおよびパスワードを入力し、「Serato.com」にログインします。

17ダウンロードページから、Serato DJ ソフトウェアをダウンロードする

ダウンロードしたファイルを解凍し、解凍したファイルをダブルクリックするとインストーラーが起動します。

18使用許諾契約の内容をよく読み、同意する場合は [I agree to the license terms and conditions] を選択し、[Install] をクリックする

- 使用許諾契約の内容に同意しないときは [Close] をクリックしてインストールを中止してください。

インストールが始まります。

インストールが完了すると、インストール完了画面が表示されます。

19[Close] をクリックして Serato DJ インストーラーを終了させる

インストール手順 (Mac OS X)

インストールが完了するまでは、本機とコンピューターを接続しないでください。

- コンピューター上で他に作業中のプログラムがあれば、すべて終了させてください。

1 CD-ROM をコンピューターの光学ドライブに挿入する

CD-ROM のメニューが表示されます。

- CD-ROM を挿入しても画面上に CD-ROM のメニューが表示されないときは、Finder で光学ドライブを開いてから [CD_menu.app] のアイコンをダブルクリックしてください。

2 表示されたメニューから [ドライバソフトウェアをインストールする] を選んで [開始] をクリックする

3「最新版をダウンロードしますか？接続にはインターネット環境が必要です。」と表示されるので、[はい] をクリックする

ウェブブラウザーが起動し、Pioneer DJ サポートサイトが表示されます。

4 Pioneer DJ サポートサイトで [DDJ-SZ] の [ソフトウェアダウンロード] をクリックする

5 [ドライバソフトウェア] をクリックする

6 ダウンロードページの中から Mac OS 用のドライバソフトウェア (DDJ-SZ_M_X.X.X.dmg) をダウンロードする

7 ダウンロードしたファイルをダブルクリックする

[DDJ-SZ_AudioDriver] のメニュー画面が表示されます。

8 [DDJ-SZ_AudioDriver.pkg] をダブルクリックする

ドライバのインストール画面が表示されます。

9 画面の内容を確認して [続ける] をクリックする

10使用許諾契約画面が表示されたら、「ソフトウェア使用許諾契約書」をよく読み、[続ける] をクリックする

11「ソフトウェア使用許諾契約書」に同意するときは、[同意する] をクリックする

「ソフトウェア使用許諾契約書」に同意いただけないときは、[**同意しない**] をクリックして、インストールを中止してください。

12画面の指示に従ってインストールする

13CD-ROM のメニューの [Serato DJ をダウンロードする] を選んで [開始] をクリックする

14「接続にはインターネット環境が必要です。インターネットに接続しますか？」と表示されるので、[はい] をクリックする

ウェブブラウザーが起動し、Pioneer DJ サポートサイトが表示されます。

15Pioneer DJ サポートサイトで [DDJ-SZ] の [ソフトウェア対応情報] をクリックする

16Serato DJ のダウンロードページへのリンクをクリックする

Serato DJ のダウンロードページが表示されます。

17「Serato.com」のユーザーアカウントでログインする

- すでに「Serato.com」のユーザーアカウントを登録されているお客様は、手順 19 にお進みください。
- ユーザーアカウントの登録が完了していないお客様は、以下の操作をしてユーザーアカウントの登録を行ってください。
  — 画面の指示に従って、E-mail アドレス、設定したいパスワードを入力し、お住まいの地域を選択してください。
  — [E-mail me Serato newsletters] にチェックを入れると、Serato 社からのニュースレターが送信され、Serato 社製品の最新情報を入手できます。
  — ユーザーアカウント登録が完了すると、入力した E-mail アドレスに E-mail が送信されますので、「Serato.com」から送信された E-mail の内容を確認してください。
- ユーザー登録の際にご指定いただきましたお客様の E-mail アドレスとパスワードは、お忘れにならないように十分ご注意ください。ソフトウェアのアップデートをするときに必要になります。
- 新規ユーザーアカウントの登録時に入力する個人情報は、Serato 社ウェブサイトの個人情報保護方針に基づき、収集、処理、使用されます。

18「Serato.com」から送信された E-mail に記載されているリンク先をクリックする

Serato DJ のダウンロードページに進みます。手順 20 にお進みください。

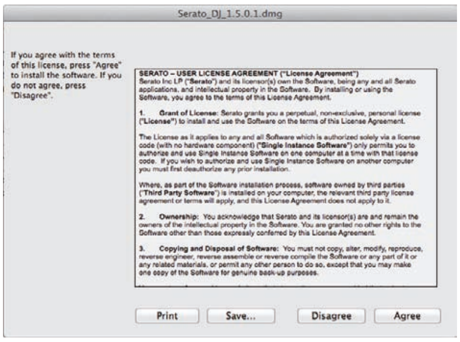
19ログインする

登録した E-mail アドレスおよびパスワードを入力し、「Serato.com」にログインします。

20ダウンロードページから、Serato DJ ソフトウェアをダウンロードする

ダウンロードしたファイルを解凍し、解凍したファイルをダブルクリックするとインストーラーが起動します。

21使用許諾契約の内容をよく読み、同意する場合は [Agree] をクリックする



- 使用許諾契約の内容に同意しないときは [Disagree] をクリックしてインストールを中止してください。

22下記の画面が表示されたら、[Serato DJ] アイコンを [Applications] フォルダーアイコンにドラッグアンドドロップする

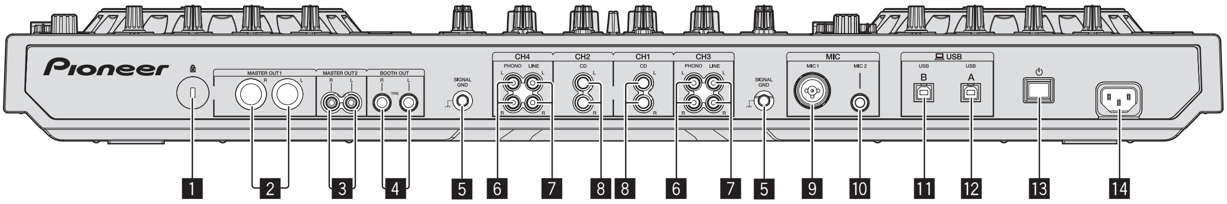
接続および各部の名称

接続する

- 電源コードは、機器の接続がすべて終わってから接続してください。
  機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
  接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 必ず付属の電源コードをお使いください。
- USB ケーブルは本製品に付属または USB 2.0 に準拠したものをお使いください。

各部の名称

❖ 本体背面部



1 ケンジントンロック装着用穴

2 MASTER OUT 1 端子
パワードスピーカーなどを接続します。
- XLR コネクター型のバランス出力に対応しています。

3 MASTER OUT 2 端子
パワーアンプなどを接続します。
- RCA ピンジャック型のアンバランス出力に対応しています。

4 BOOTH OUT 端子
ブースモニター用出力端子です。TRS 端子のため、バランス出力、アンバランス出力に対応しています。
マスターチャンネルに設定された音声レベルと関係なく、マスターチャンネルの音声を [**BOOTH OUT**] 端子から出力できます。
音量レベルは [**BOOTH MONITOR**] ツマミで調整できます。
- アンバランス出力時にレベルを上げすぎると音声が歪みます。

5 SIGNAL GND 端子
アナログプレーヤーのアース線と接続します。アナログプレーヤー接続時の雑音低減を図ります。

6 PHONO 端子
フォノレベル (MM カートリッジ用) の出力機器と接続します。ラインレベルの信号を入力しないでください。
- 本体天面の [**LINE, PHONO, USB**] 切換スイッチを [**PHONO**] に設定しておく必要があります。

7 LINE 端子
DJ プレーヤーなどのラインレベルの出力機器と接続します。
- 本体天面の [**LINE, PHONO, USB**] 切換スイッチを [**LINE**] に設定しておく必要があります。

8 CD 端子
DJ プレーヤーなどのラインレベルの出力機器と接続します。
- 本体天面の [**CD, USB**] 切換スイッチを [**CD**] に設定しておく必要があります。

9 MIC1 端子
マイクを接続します。
- XLR コネクターまたはフォーンプラグ (Ø 6.3 mm) のどちらでもご使用になれます。

10 MIC2 端子
マイクを接続します。

11 USB-B 端子
コンピューターと接続します。
- 本機とコンピューターは付属または USB 2.0 に準拠した USB ケーブルで直接接続してください。
- USB ハブは使えません。

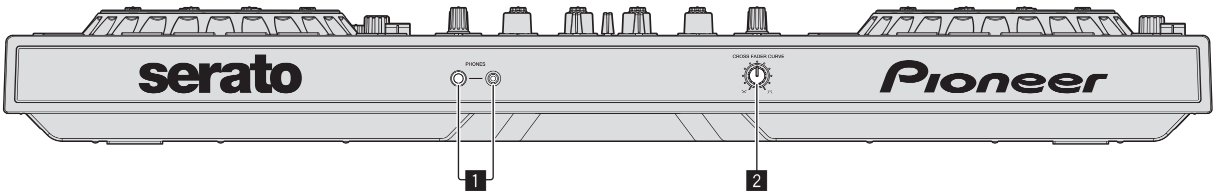
12 USB-A 端子
コンピューターと接続します。
- 本機とコンピューターは付属または USB 2.0 に準拠した USB ケーブルで直接接続してください。
- USB ハブは使えません。

13 ⏻ スイッチ
本機の電源をオン / スタンバイにします。

14 AC IN 端子
電源コードは、機器の接続がすべて終わってから接続してください。
必ず付属の電源コードをお使いください。

> ⚠ **注意**
> 製品の仕様により、本体部やリモコン (付属の場合) のスイッチを操作することで表示部がすべて消えた状態となり、電源プラグをコンセントから抜いた状態と変わらなく見える場合がありますが、電源の供給は停止していません。製品を電源から完全に遮断するためには、電源プラグ (遮断装置) をコンセントから抜く必要があります。製品はコンセントの近くで、電源プラグ (遮断装置) に簡単に手が届くように設置し、旅行などで長期間ご使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

❖ 本体前面部



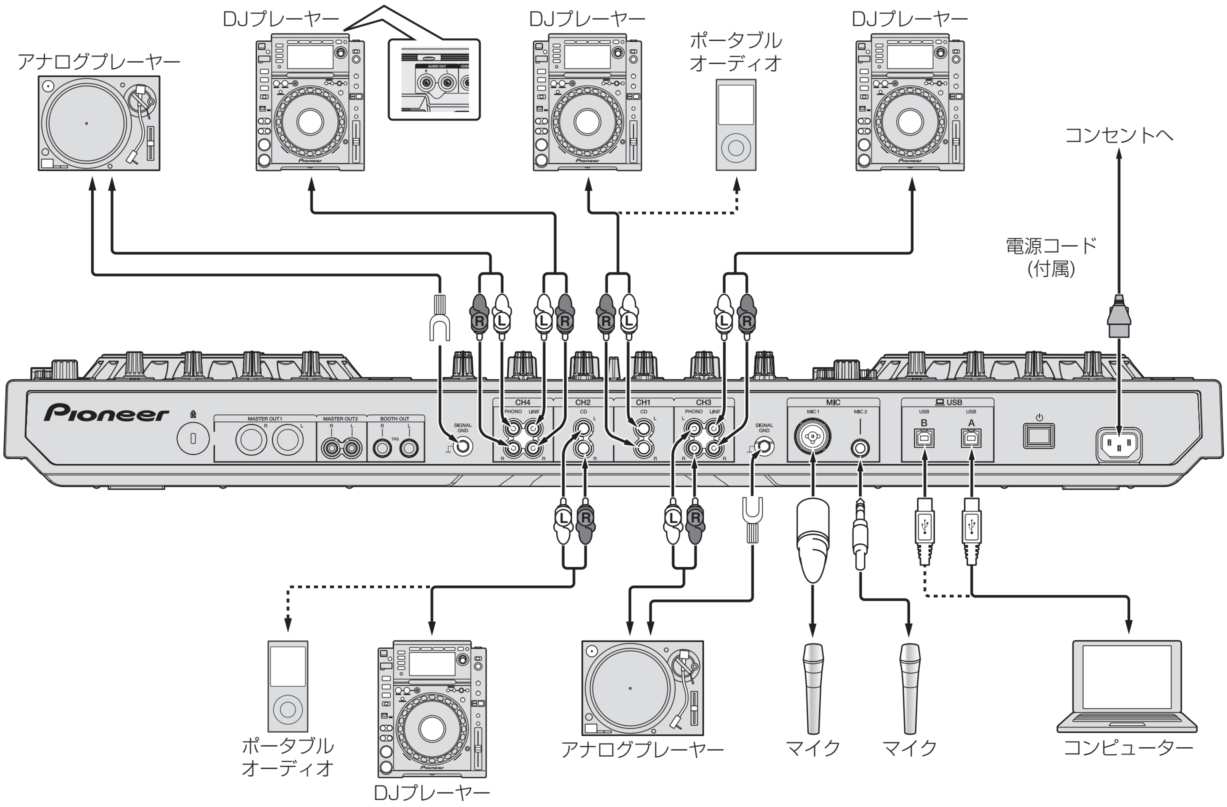
1 PHONES 端子
ヘッドホンを接続します。
ステレオフォーンプラグ (Ø 6.3 mm) とステレオミニフォーンプラグ (Ø 3.5 mm) に対応しています。
- ステレオフォーンジャックとミニフォーンジャックの 2 つの入力端子がありますが、同時に使用しないでください。同時に使用すると片方の端子を抜き差しする際に、もう片方の音量が急に増減する場合があります。

2 CROSS FADER CURVE 切換ツマミ
クロスフェーダーのカーブ特性を切り換えます。
- ツマミを右に回すほど、急峻に立ち上がるカーブになります。
- ツマミを左に回すほど、徐々に立ち上がるカーブになります。

入力 / 出力端子に接続する

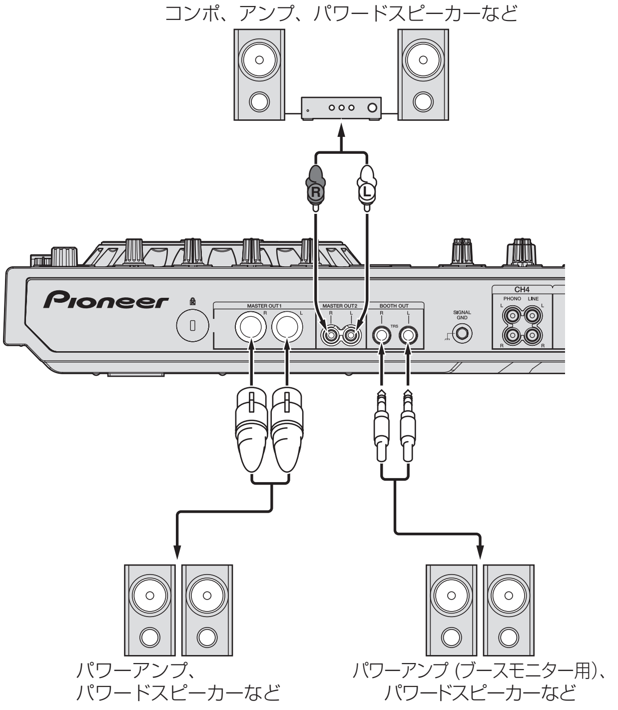
❖ 入力端子に接続する

本体背面部

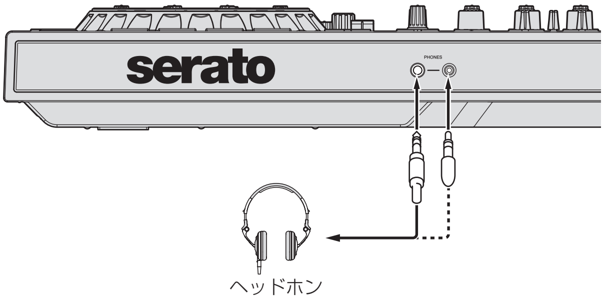


❖ 出力端子に接続する

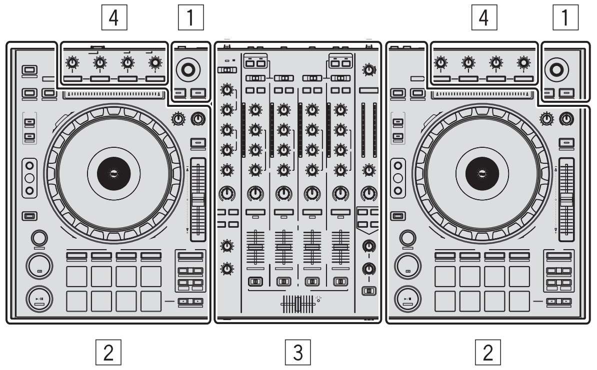
本体背面部



本体前面部



各部の名称とはたらき



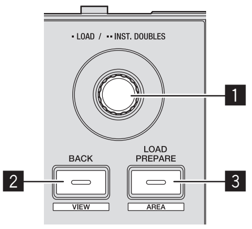
1 ブラウザー部

2 デッキ部

3 ミキサー部

4 エフェクト部

ブラウザー部



1 ロータリーセレクター

回す：
ライブラリや [**CRATES**] パネルのカーソルが上下に移動します。

押す：
選んでいるトラックをそれぞれのデッキにロードします。
- ロータリーセレクターを 2 回押すと、反対側の選択されているデッキにロードされているトラックを、ロータリーセレクターが押されたデッキにロードします。トラックが再生中のときは同じ位置から再生されます。（インスタントダブル）

2 BACK (VIEW) ボタン

押す：
ボタンを押すたびに [**CRATES**] パネルとライブラリの間でカーソルが移動します。

[**SHIFT**] + 押す：
Serato DJ のレイアウトを切り換えます。

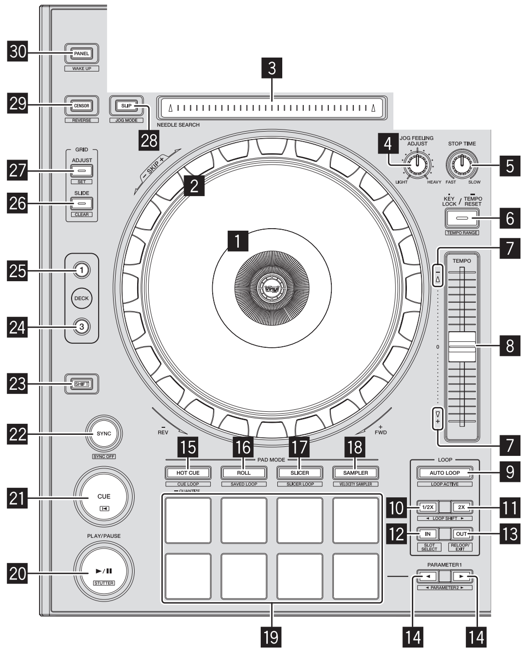
3 LOAD PREPARE (AREA) ボタン

押す：
[**Prepare**] パネルにトラックをロードします。

[**SHIFT**] + 押す：
[**Files**] パネル、[**Browse**] パネル、[**Prepare**] パネル、[**History**] パネルを選択して表示します。

デッキ部

4 つのデッキをコントロールします。コントローラー左側にデッキ 1 およびデッキ 3、コントローラー右側にデッキ 2 およびデッキ 4 を操作するツマミやボタンがあります。



1 ジョグダイヤル表示部

➲「ジョグダイヤル表示部」(p.12)

2 ジョグダイヤル

天面を回す：
VINYL モードがオンのとき、スクラッチ操作ができます。
VINYL モードがオフのとき、ピッチベンド操作 (再生速度の調整) ができます。

外周部を回す：
ピッチベンド操作 (再生速度の調整) ができます。
[**SHIFT**] + 天面を回す：
ビートに同期して再生位置がスキップします。（スキップモード）
- スキップモードはビートグリッドが設定されていない楽曲ではお使いいただけません。ビートグリッドの設定方法の詳細については、Serato DJ のソフトウェアマニュアルをご覧ください。
- スキップモードを使うには、Serato DJ の [**SETUP**] メニューにある [**SYNC PREFERENCES**] を [**Smart Sync**] に切り換える必要があります。

3 NEEDLE SEARCH パッド

パッドにタッチすることで、デッキにロードされているトラックの任意の位置にジャンプします。

4 JOG FEELING ADJUST ツマミ

ジョグダイヤルを回すときの負荷を調整します。
右に回すほど負荷が重くなり、左に回すほど負荷が軽くなります。

5 STOP TIME ツマミ

[**PLAY/PAUSE►/II**] ボタンを押して再生が停止する速度を変更できます。

6 KEY LOCK ボタン

押す：
キーロック機能をオン / オフします。
キーロック機能がオンのとき、[**TEMPO**] スライダーで再生速度を変えても音程は変わりません。
音声をデジタル加工するため音質が悪くなります。

[**SHIFT**] + 押す：
押すたびに [**TEMPO**] スライダーの可変範囲が切り換わります。

→[**±8%**]→[**±16%**]→[**±50%**]

1 秒以上押す：
再生中のトラックのテンポ (BPM) をトラックのオリジナルテンポに戻します。

7 テイクオーバーインジケーター

SYNC 機能がオフ状態でデッキを切り換えたときに、コントローラーの [**TEMPO**] スライダーの位置とソフトウェアのテンポ (ピッチ) が一致しない場合があります。再びテンポをコントローラーで制御するようにするには、テイクオーバーインジケーターを目安に調整します。まず、テイクオーバーインジケーターが点灯する方向へゆっくりと [**TEMPO**] スライダーを移動させます。テイクオーバーインジケーターが消灯する位置まで移動させると、ソフトウェアのテンポ (ピッチ) と一致し、再び [**TEMPO**] スライダーで制御することができます。

8 TEMPO スライダー
トラックの再生速度を調整します。
デッキを切り換えた時に Serato DJ で制御されている値と、本機の [**TEMPO**] スライダーの位置が異なっている場合、[**TEMPO**] スライダーは Serato DJ で制御されている値まで動かさないと操作できません。
- Serato DJ のデッキ 3 と 4 の [**TEMPO**] スライダーの初期設定値は±0.0 % になっています。

9 AUTO LOOP ボタン
押す：
オートループをオン / オフします。
- ループ再生中、この操作でループを解除します。

[**SHIFT**] + 押す：
ループのアクティブ状態/非アクティブ状態を切り換えます。(ループアクティブ)
- ループをアクティブ状態に設定しても、そのループ内に再生位置がないとループ再生しません。
- アクティブ状態のループ内に再生位置が入るとループ再生します。
- ループ再生中、この操作でループを解除します。

10 LOOP 1/2X ボタン
押す：
オートループの拍を選択します。
ループ再生中、ボタンを押すたびにループ再生の長さが半分に分割されます。

[**SHIFT**] + 押す：
ループ再生中､ループがその長さ分だけ左方向へ移動します。(ループシフト)

11 LOOP 2X ボタン
押す：
オートループの拍を選択します。
ループ再生中、ボタンを押すたびにループ再生の長さが倍に延長されます。

[**SHIFT**] + 押す：
ループ再生中､ループがその長さ分だけ右方向へ移動します。(ループシフト)

12 LOOP IN ボタン
押す：
ループインポイントが設定されます。
ループ再生中にこのボタンを押すと、ジョグダイヤルを使ってループインポイントを微調整できます。

[**SHIFT**] + 押す：
ループスロットが切り換わります。(ループスロット)
ループスロットにあらかじめループを保存しておくことによって、ループをあとで呼び出すことができます。
- ループスロットは最大 8 個までループを設定できます。
- 保存したいループスロット番号を選択して、ループを設定するとループが自動的に保存されます。
- ループを保存したあとで再度ループを設定するとループは上書き更新されます。
- 呼び出したいループスロット番号を選択して、[**SHIFT**] ボタンを押しながら [**LOOP OUT**] ボタンを押す (リループ) と、保存されていたループ再生が始まります。

13 LOOP OUT ボタン
押す：
ループアウトポイントが設定され、ループ再生を始めます。
ループ再生中にこのボタンを押すと、ジョグダイヤルを使ってループアウトポイントを微調整できます。

[**SHIFT**] + 押す：
ループ再生を解除します。(ループイグジット)
ループ再生を解除したあと、前回設定したループインポントに戻りループ再生を再開します。(リループ)

14 PARAMETER◀ ボタン、PARAMETER▶ ボタン
パフォーマンスパッド使用時のさまざまなパラメーターを設定します。
➲「パフォーマンスパッドを使う」(p.17)

15 HOT CUE モードボタン
押す：
ホットキューモードに設定します。
➲「ホットキューを使う」(p.17)

[**SHIFT**] + 押す：
ホットループモードに設定します。
➲「キューループを使う」(p.18)

1 秒以上押す：
クオンタイズをオン / オフします。

16 ROLL モードボタン
押す：
ロールモードに設定します。
➲「ロールを使う」(p.17)

[**SHIFT**] + 押す：
セーブドループモードに設定します。
➲「セーブドループを使う」(p.18)

17 SLICER モードボタン
押す：
スライサーモードに設定します。
- スライサーモードを解除するには、[**ROLL**] モードボタン、[**SAMPLER**] モードボタン、[**HOT CUE**] モードボタンのいずれかのボタンを押します。

[**SHIFT**] + 押す：
スライサーループモードに設定します。

18 SAMPLER モードボタン
押す：
サンプラーモードに設定します。

[**SHIFT**] + 押す：
サンプラーベロシティモードをオン / オフします。
- サンプラーベロシティモードについて、詳しくは 19 ページの「サンプラーベロシティを使う」をご覧ください。

19 パフォーマンスパッド
パッドを使って、さまざまなパフォーマンスを行うことができます。
➲「パフォーマンスパッドを使う」(p.17)

20 PLAY/PAUSE ►/❚❚ ボタン
押す：
トラックを再生 / 一時停止します。
- キューサンプラー中に [**PLAY/PAUSE ►/❚❚**] ボタンを押すとそのまま続けて再生します。

[**SHIFT**] + 押す：
テンポラリーキューポイントに戻って再生を続けます。(スタッター)

21 CUE ボタン
押す：
テンポラリーキューポイントを設定、再生、呼び出しします。
- 一時停止中に [**CUE**] ボタンを押すとテンポラリーキューポイントを設定します。
- 再生中に [**CUE**] ボタンを押すとテンポラリーキューポイントに戻り、一時停止します。(バックキュー)
- テンポラリーキューポイントに戻ったあとに [**CUE**] ボタンを押し続けると、ボタンを押し続けている間、再生を続けます。(キューサンプラー)
- キューサンプラー中に [**PLAY/PAUSE ►/❚❚**] ボタンを押すとそのまま続けて再生します。

[**SHIFT**] + 押す：
トラックリストの中の 1 つ前のトラックをロードします。(プレビアス トラック)
- 現在の再生位置がトラックの先頭でないときは、トラックの先頭に戻ります。

22 SYNC ボタン
押す：
複数のデッキのトラックとテンポ (ピッチ) およびビートグリッドを自動で合わせることができます。

[**SHIFT**] + 押す：
SYNC を解除します。

23 SHIFT ボタン
[**SHIFT**] ボタンを押しながら他のボタンを押すと、別の機能を呼び出せます。

24 DECK 3 ボタン
右側のデッキ部には、[**DECK 4**] ボタンがあります。
操作するデッキを切り換えます。

25 DECK 1 ボタン
右側のデッキ部には、[**DECK 2**] ボタンがあります。
操作するデッキを切り換えます。

26 GRID SLIDE ボタン
押す：
[**GRID SLIDE**] ボタンを押しながらジョグダイヤルを回すと、ビートグリッド全体を左または右にスライドさせることができます。

[**SHIFT**] + 押す：
ビートマーカーを消去します。(GRID CLEAR)

27 GRID ADJUST ボタン
押す：
[**GRID ADJUST**] ボタンを押しながらジョグダイヤルを回すと、ビートグリッド間隔を調整できます。

[**SHIFT**] ＋ 押す：
ビートマーカーを設定します。(GRID SET)
- ビートマーカーは複数箇所に設定できます。

28 SLIP ボタン
スリップモードをオン / オフします。
➲「スリップを使う」(p.18)

[**SHIFT**] ＋ 押す：
VINYL モードをオン / オフします。

29 CENSOR ボタン
押す：
[**CENSOR**] ボタンを押しているあいだ逆方向に再生し、ボタンから手を放すと通常の再生に戻ります。
- 逆再生中もバックグラウンドで通常の再生を続け、ボタンから手を放すとバックグラウンドで進んだ位置から再生します。

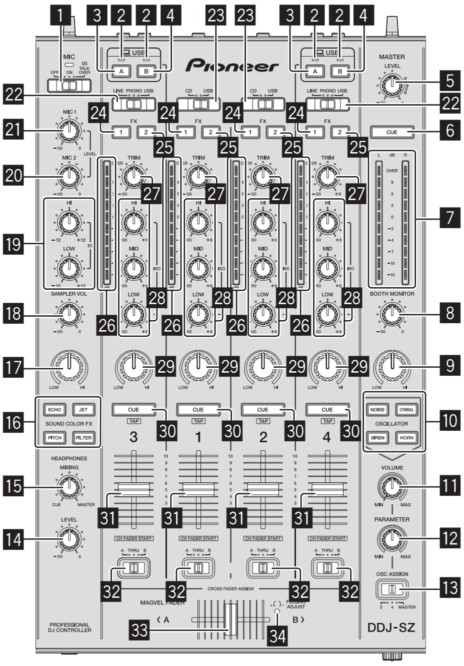
[**SHIFT**] ＋ 押す：
逆方向に再生します。もう一度、[**SHIFT**] ボタンと [**CENSOR**] ボタンを押すと、逆再生を解除して通常の再生に戻ります。

30 PANEL ボタン
押す：
(通常動作中)
ボタンを押すたびに以下の順序でパネル表示を切り換えます。
パネル表示オフ ➡ [**REC**] パネル ➡ [**FX**] パネル ➡ [**SP-6**] パネル ➡ パネル表示オフに戻る
- Serato-Video をインストールし [**SETUP**] メニューで有効になっている場合、Serato DJ ソフトウェアの画面上に [**VIDEO**] パネルに切り換えるキーが表示されます。[**VIDEO**] パネルを表示させるには、この [**VIDEO**] パネルに切り換えるキーをマウスでクリックしてください。

(スタンバイ状態中)
スタンバイ状態を解除します。

[**SHIFT**] ＋ 押す：
ボタンを押すたびに以下の順序でパネル表示を切り換えます。
パネル表示オフ ➡ [**SP-6**] パネル ➡ [**FX**] パネル ➡ [**REC**] パネル ➡ パネル表示オフに戻る
- Serato-Video をインストールし [**SETUP**] メニューで有効になっている場合、Serato DJ ソフトウェアの画面上に [**VIDEO**] パネルに切り換えるキーが表示されます。[**VIDEO**] パネルを表示させるには、この [**VIDEO**] パネルに切り換えるキーをマウスでクリックしてください。

ミキサー部



1 OFF, ON, TALK OVER 切換スイッチ
マイクをオン / オフします。

2 USB コネクトインジケーター
USB-A 端子と **USB-B** 端子の接続状態を表示します。
点灯：Serato DJ と通信が正常にできているとき
点滅：コンピューターにドライバーがインストールされてないとき
消灯：端子にコンピューターが接続されていないとき

3 USB (A) ボタン
点灯時にコンピューターとの通信で **USB-A** 端子を使用します。
- 左側に配置されている [**USB (A)**] ボタンと [**USB (B)**] ボタンはデッキ 1 またはデッキ 3 に対しての USB 通信を制御します。右側に配置されている [**USB (A)**] ボタンと [**USB (B)**] ボタンはデッキ 2 またはデッキ 4 に対しての USB 通信を制御します。
- 左側に配置されている [**USB (A)**] ボタンまたは [**USB (B)**] ボタンが点滅しているときは、デッキ 1 またはデッキ 3 の音声がオンエア中であることを示しています。デッキ 1 およびデッキ 3 のチャンネルフェーダーを一番手前まで動かすと点滅が止まります。右側に配置されている [**USB (A)**] ボタンまたは [**USB (B)**] ボタンが点滅しているときは、デッキ 2 またはデッキ 4 の音声がオンエア中であることを示しています。デッキ 2 およびデッキ 4 のチャンネルフェーダーを一番手前まで動かすと点滅が止まります。(USB 端子を切り換えると瞬時に音声も切り換わりますので、点滅している場合は別のユーザーにデッキが使われていないことを確認してから切り換えてください。)

4 USB (B) ボタン
点灯時にコンピューターとの通信で **USB-B** 端子を使用します。
- 左側に配置されている [**USB (A)**] ボタンと [**USB (B)**] ボタンはデッキ 1 またはデッキ 3 に対しての USB 通信を制御します。右側に配置されている [**USB (A)**] ボタンと [**USB (B)**] ボタンはデッキ 2 またはデッキ 4 に対しての USB 通信を制御します。
- 左側に配置されている [**USB (A)**] ボタンまたは [**USB (B)**] ボタンが点滅しているときは、デッキ 1 またはデッキ 3 の音声がオンエア中であることを示しています。デッキ 1 およびデッキ 3 のチャンネルフェーダーを一番手前まで動かすと点滅が止まります。右側に配置されている [**USB (A)**] ボタンまたは [**USB (B)**] ボタンが点滅しているときは、デッキ 2 またはデッキ 4 の音声がオンエア中であることを示しています。デッキ 2 およびデッキ 4 のチャンネルフェーダーを一番手前まで動かすと点滅が止まります。(USB 端子を切り換えると瞬時に音声も切り換わりますので、点滅している場合は別のユーザーにデッキが使われていないことを確認してから切り換えてください。)

5 MASTER LEVEL ツマミ
マスター出力の音声レベルを調整します。

6 MASTER CUE ボタン
マスター出力の音声のモニターをオン / オフします。

7 マスターレベルインジケーター
マスター出力の音声レベルを表示します。

8 BOOTH MONITOR ツマミ
[**BOOTH OUT**] 端子から出力される音声レベルを調整します。

9 MASTER OUT COLOR ツマミ
マスター出力の音声にかけるSOUND COLOR FXのパラメーターを変化させます。

10 OSCILLATOR SELECT ボタン
オシレーター音 (NOISE、CYMBAL、SIREN、HORN) を発生させます。
➲「オシレーター機能を使う」(p.21)

11 OSCILLATOR VOLUME ツマミ
オシレーター音の音量レベルを調整します。

12 OSCILLATOR PARAMETER ツマミ
オシレーター音の量的パラメーターを調整します。

13 OSC ASSIGN 切換スイッチ
オシレーター音を出力するチャンネルを選択します。

14 HEADPHONES LEVEL ツマミ
ヘッドホンから出力される音声レベルを調整します。

15 HEADPHONES MIXING ツマミ
ヘッドホン [**CUE**] ボタンが押してあるチャンネルの音声と、マスターチャンネルの音声のモニター音量バランスを調整します。

16 SOUND COLOR FX ボタン
SOUND COLOR FX をオン / オフします。

17 SAMPLER, MIC COLOR ツマミ
サンプラー音声とマイク音声にかけるSOUND COLOR FXのパラメーターを変化させます。

18 SAMPLER VOL ツマミ
サンプラーの音声レベルを調整します。

19 EQ (HI, LOW) ツマミ
[**MIC1**] チャンネルおよび [**MIC2**] チャンネルの音質を調整します。

20 MIC2 ツマミ
[**MIC2**] チャンネルから出力される音声レベルを調整します。

21 MIC1 ツマミ
[**MIC1**] チャンネルから出力される音声レベルを調整します。

22 LINE, PHONO, USB 切換スイッチ
本機に接続している機器の中から、各チャンネルの入力ソースを切り換えます。
- [**LINE**]:[**LINE**] 入力端子に接続した DJ プレーヤーなどのラインレベル出力機器を使うときに選択します。
  — [**PHONO**] に切り換えた時は音声が一瞬ミュートされます。
- [**PHONO**]:[**PHONO**] 入力端子に接続したアナログプレーヤーなどのフォノレベル (MM カートリッジ用) の出力機器を使うときに選択します。
- [**USB**]:Serato DJ ソフトウェア上のデッキにロードされたトラックを使うときに選択します。

23 CD, USB 切換スイッチ
本機に接続している機器の中から、各チャンネルの入力ソースを切り換えます。
- [**CD**]:[**CD**] 端子に接続した DJ プレーヤーなどのラインレベル出力機器を使うときに選択します。
- [**USB**]:Serato DJ ソフトウェア上のデッキにロードされたトラックを使うときに選択します。

24 FX 1 アサインボタン
各チャンネルに対して、エフェクトユニット FX1 をオン / オフします。

25 FX 2 アサインボタン
各チャンネルに対して、エフェクトユニット FX2 をオン / オフします。

26 チャンネルレベルインジケーター
各チャンネルのチャンネルフェーダー通過前の音声レベルを表示します。

27 TRIM ツマミ
各チャンネルに入力される音声レベルを調整します。

28 ISO (HI、MID、LOW) ツマミ
各チャンネルに対してそれぞれの周波数域を増減させることができます。

29 COLOR ツマミ
各チャンネルの SOUND COLOR FX のパラメーターを変化させます。

30 ヘッドホン CUE ボタン
押す:
ヘッドホン [**CUE**] ボタンが押してあるチャンネルの音声がヘッドホンから出力されます。
- ヘッドホン [**CUE**] ボタンを再び押すと、モニターが解除されます。

[**SHIFT**] + 押す:
ボタンをたたくことでトラックのテンポを設定できます。(タップ機能)
- タップ機能を使うと、コンピューター画面のデッキ部の表示が [**Beatgrid Editor**] 表示に切り換わります。デッキ部の表示を元に戻すには、コンピューター画面の [**Edit Grid**] をクリックします。

31 チャンネルフェーダー
動かす:
各チャンネルから出力される音声レベルを調整します。

[**SHIFT**] + 動かす:
チャンネルフェーダースタート機能を使います。
➲「チャンネルフェーダースタート機能を使う」(p.19)

32 クロスフェーダーアサイン切換スイッチ
チャンネルの出力先をクロスフェーダーに割り当てます。
[**A**]:クロスフェーダーの [**A**] (左) 側に割り当てます。
[**B**]:クロスフェーダーの [**B**] (右) 側に割り当てます。
[**THRU**]:クロスフェーダーを使わないときに選びます (クロスフェーダーは通過しません)。

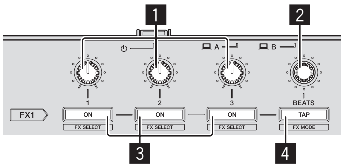
33 クロスフェーダー
クロスフェーダーアサインスイッチによって割り当てられた音声を出力します。

[**SHIFT**] + 動かす:
クロスフェーダースタート機能を使います。
➲「クロスフェーダースタート機能を使う」(p.19)

34 FEELING ADJUST 調整用穴
クロスフェーダーの操作負荷を調整できます。
➲「クロスフェーダーの操作負荷を調整する」(p.20)

エフェクト部

2つのエフェクトユニット (FX1 および FX2) をコントロールします。コントローラー左側に FX1、コントローラー右側に FX2 を操作するツマミやボタンがあります。また、ミキサー部のエフェクトアサインボタンで、どのチャンネルにエフェクトをかけるかを設定します。



1 エフェクトパラメーターツマミ
エフェクトのパラメーターを調整します。

2 FX BEATS ツマミ
エフェクト時間を調整します。

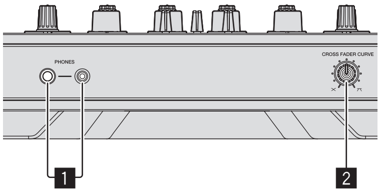
3 エフェクトパラメーターボタン
押す:
エフェクトのオン / オフ、またはパラメーターを切り換えます。

[**SHIFT**] + 押す:
エフェクトの種類を切り換えます。

4 TAP ボタン
押す:
エフェクトの基準となる BPM 値を、ボタンを指でたたいた間隔から算出します。
ボタンを長く押すと設定したエフェクト時間はリセットされます。

[**SHIFT**] + 押す:
エフェクトモードを切り換えます。

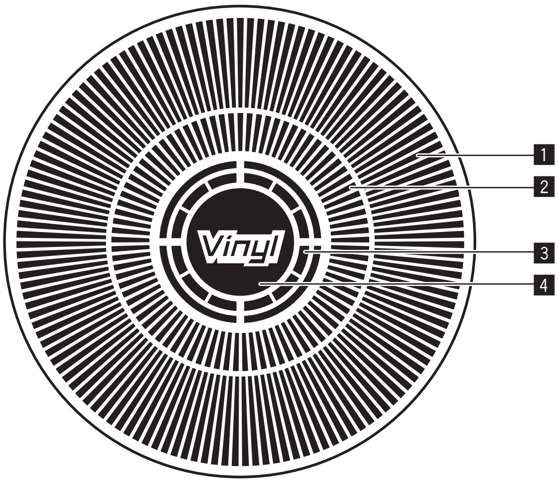
本体前面部



1 **PHONES 端子**

2 **CROSS FADER CURVE 切換ツマミ**
クロスフェーダーのカーブ特性を切り換えます。
- ツマミを右に回すほど、急峻に立ち上がるカーブになります。
- ツマミを左に回すほど、徐々に立ち上がるカーブになります。

ジョグダイヤル表示部



1 **動作表示**
Serato DJ のデッキの回転表示に同期して動きます。

2 **ホットキューポイント表示**

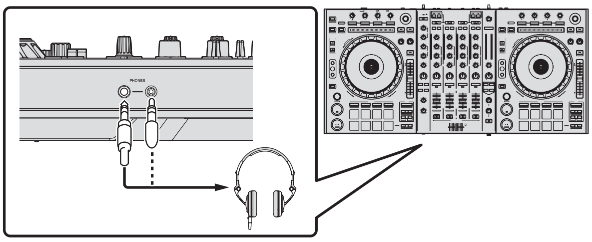
3 **ジョグタッチ検出表示**
VINYL モードがオンのとき、ジョグダイヤル天面を押すと点灯します。

4 **VINYL**
VINYL モードがオンのとき、点灯します。

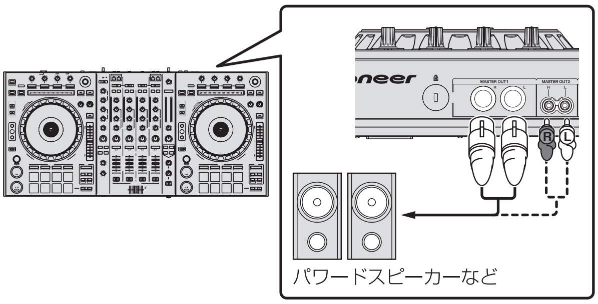
操作する（基本編）

接続する

1 どちらかの [PHONES] 端子にヘッドホンを接続する

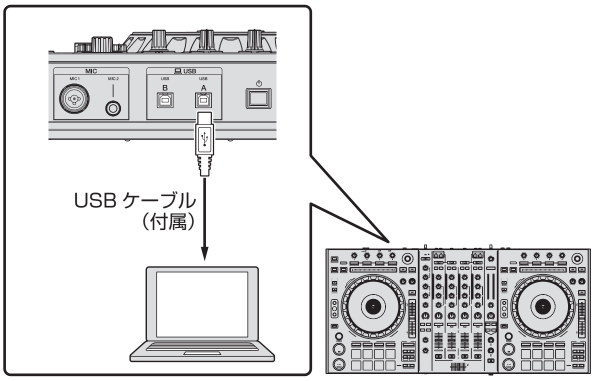


2 [MASTER OUT 1] 端子または [MASTER OUT 2] 端子にパワードスピーカー、パワーアンプ、コンポなどの機器を接続する



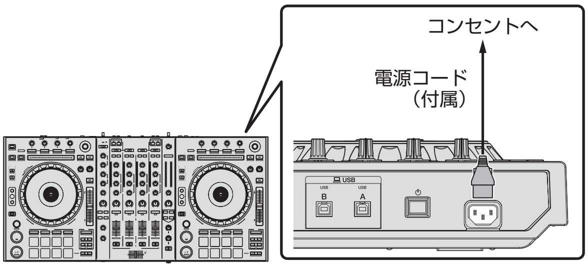
- [**BOOTH OUT**] 端子から音声を出力する場合は、[**BOOTH OUT**] 端子にスピーカーなどの機器を接続してください。
- 入出力端子の接続についての詳細は、「接続する」(p.6) を参照してください。

3 本機とコンピューターを USB ケーブルで接続する

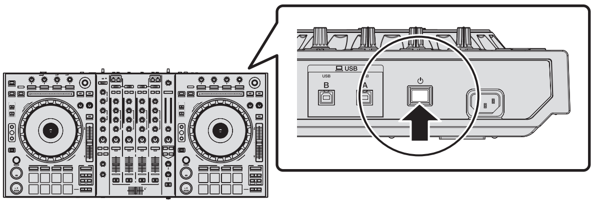


4 コンピューターの電源をオンにする

5 電源コードを接続する



6 本機の背面部にある [⏻] スイッチを押して、本機の電源をオンにする



本機の電源をオンにします。

- Windows をお使いのお客様
  本機をはじめてコンピューターに接続したとき、またはコンピューターの USB 端子をつなぎ変えたときに [**デバイスドライバソフトウェアをインストールしています。**] メッセージが表示されることがあります。[**デバイスを使用する準備ができました。**] メッセージが表示されるまで、そのままお待ちください。

7 出力端子に接続された機器（パワードスピーカー、パワーアンプ、コンポなど）の電源を入れる

- 入力端子にマイクやＤＪプレーヤーなどの外部機器を接続している場合は、それらの機器の電源も入れてください。

システムを起動する

Serato DJ を起動する

Windows のとき
Windows の [**スタート**] メニューから、[**すべてのプログラム**] > [**Serato**] > [**Serato DJ**] > [**Serato DJ**] のアイコンをクリックする

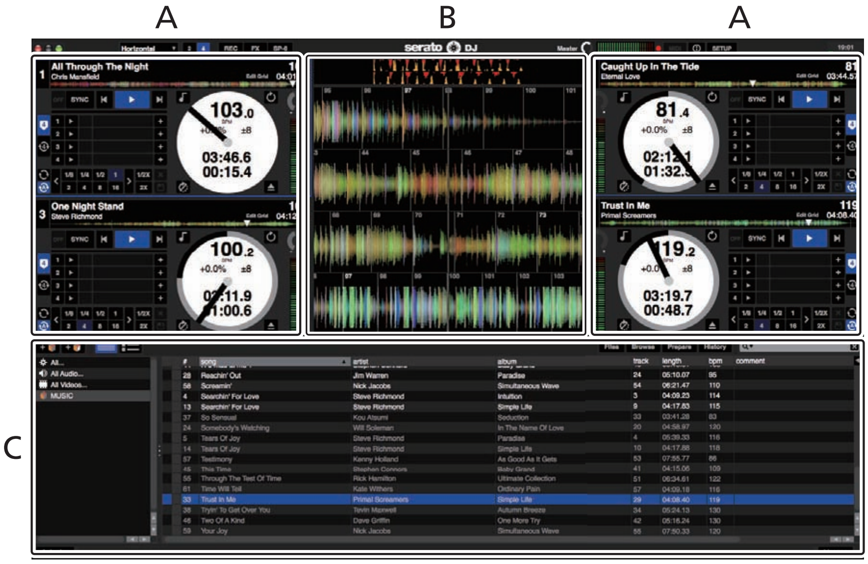
Mac OS X のとき
Finder で [**アプリケーション**] フォルダーを開いてから、[**Serato DJ**] のアイコンをクリックする

Serato DJ ソフトウェア起動直後のコンピューター画面

1 Serato DJ の初回起動時に表示される画面右側に [**BUY/ACTIVATE**] のアイコンが表示される場合がありますが、**DDJ-SZ** をお使いのお客様はアクティベーションやライセンスを購入する必要はありません。
2 [**Online**] をクリックしてそのままお使いください。

ビートグリッドの操作をするには
Serato DJ では、[**SYNC PREFERENCES**] の初期値が [**Simple Sync**] に設定されており、ビートグリッドの操作を行うには [**Smart Sync**] に切り換える必要があります。
SETUP ー **DJ Preference** ー **SYNC PREFERENCES**
設定画面の表示方法やビートグリッドの詳細については、Serato DJ のマニュアルで確認してください。

Serato DJ ソフトウェアに楽曲をロードしたときのコンピューター画面
コンピューター画面の左上にある [**Library**] をクリックして、プルダウンメニューから [**Vertical**] や [**Horizontal**] を選んで Serato DJ の画面を切り換えてください。



A デッキ部
　ロードされたトラックの曲名、アーティスト名、BPM などのトラック情報や全体波形などを表示します。

B ウェーブフォームディスプレイ
　ロードされたトラックの波形を表示します。

C ブラウザー部
　ライブラリの中の楽曲や複数の楽曲をまとめて保存した crate を表示します。

本書は、本機のハードウェアとしての機能を中心に説明が構成されています。詳しい Serato DJ ソフトウェアの操作については、Serato DJ のソフトウェアマニュアルをご覧ください。

楽曲をインポートする

以下では、楽曲をインポートする代表的な操作方法について説明します。

- Serato DJ ソフトウェアでは、さまざまなインポート方法があります。詳細については、Serato DJ のソフトウェアマニュアルをご覧ください。
- すでに Serato 社の DJ ソフトウェア (Scratch Live、ITCH、Serato DJ Intro) をお使いのお客様で、楽曲ライブラリを作成されている場合は、以前作成した楽曲ライブラリをそのまま使うことができます。
- Serato DJ Intro をお使いのお客様で、すでに楽曲ライブラリを作成されている場合は、楽曲の再解析が必要になる場合があります。

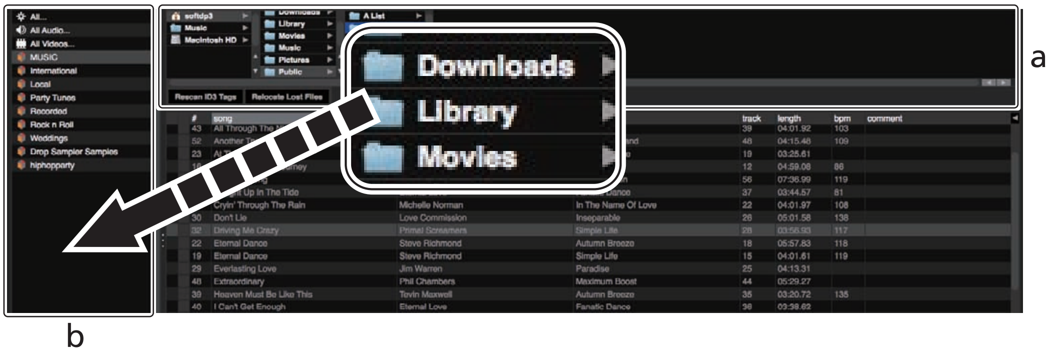
1 Serato DJ ソフトウェア画面の [**Files**] キーをクリックして [**Files**] パネルを開く

お使いのコンピューターおよびコンピューターに接続されている周辺機器の中身が [**Files**] パネルに表示されます。

2 [**Files**] パネル内でライブラリに加えたい楽曲が含まれているフォルダーをクリックして選択する

3 Serato DJ ソフトウェアの画面上で、選択したフォルダーを crates パネルにドラッグ & ドロップする

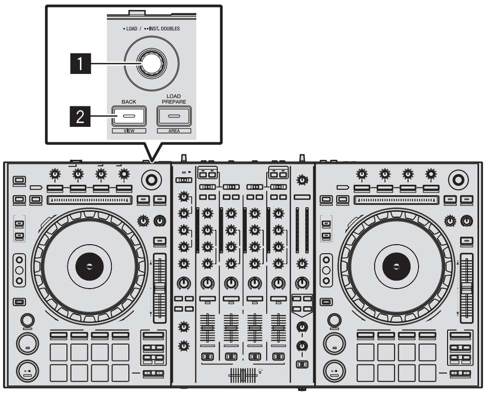
crate が作成され、ライブラリに楽曲が追加されます。



a [**Files**] パネル
b crates パネル

トラックをロードして再生する

以下では、デッキ [**1**] にトラックをロードする方法を例にして説明します。

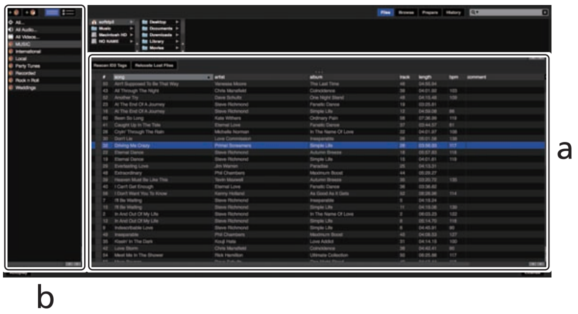


1 ロータリーセレクター

2 **BACK (VIEW)** ボタン

1 本機の [**BACK (VIEW)**] ボタンを押して、コンピューター画面の crates パネルにカーソルを移動させ、ロータリーセレクターを回して、crate などを選ぶ

2 ロータリーセレクターを押して、コンピューター画面のライブラリにカーソルを移動させ、ロータリーセレクターを回して、トラックを選ぶ



a ライブラリ
b crates パネル

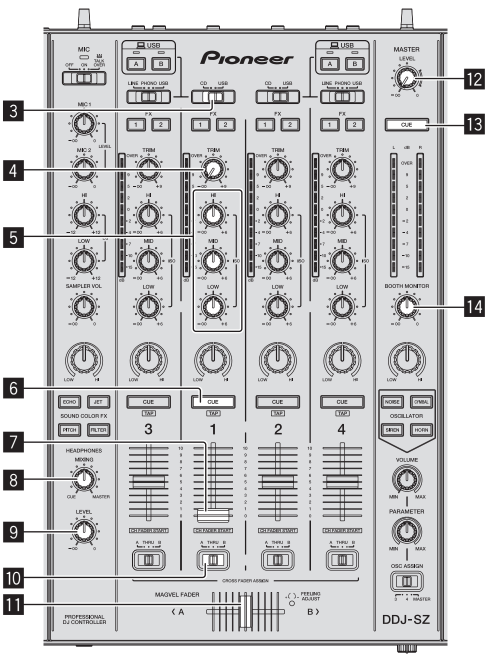
3 [**DECK1**] ボタンを押す

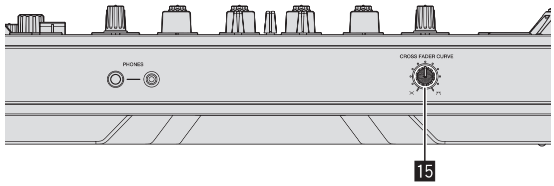
4 ロータリーセレクターを押して、選んでいるトラックをデッキにロードする

トラックを再生して音声を出力する

以下では、チャンネル 1 の音声を出力する方法を例にして説明します。

- [**MASTER OUT 1**] 端子および [**MASTER OUT 2**] 端子に接続している機器（パワーアンプ、パワードスピーカーなど）のボリュームを適切に設定してください。ボリュームを上げすぎると大音量で音声が出力されますのでご注意ください。





3 CD, USB 切換スイッチ

4 TRIM ツマミ

5 ISO（HI、MID、LOW）ツマミ

6 ヘッドホン CUE ボタン

7 チャンネルフェーダー

8 HEADPHONES MIXING ツマミ

9 HEADPHONES LEVEL ツマミ

10 クロスフェーダーアサイン切換スイッチ

11 クロスフェーダー

12 MASTER LEVEL ツマミ

13 MASTER CUE ボタン

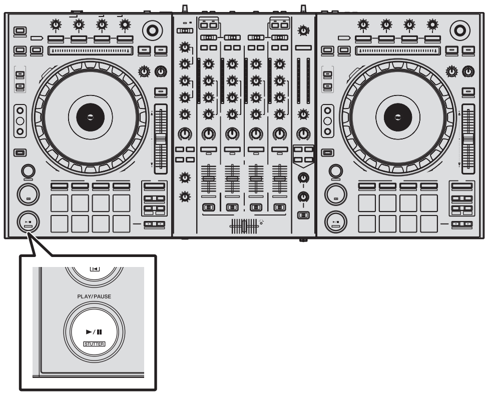
14 BOOTH MONITOR ツマミ

15 CROSS FADER CURVE 切換ツマミ

1 以下のように、ツマミなどの位置を設定してください

ツマミなどの名称	位置
MASTER LEVEL ツマミ	左に回しきった位置
CD, USB 切換スイッチ	[**USB**] の位置
TRIM ツマミ	左に回しきった位置
ISO（**HI**、**MID**、**LOW**）ツマミ	中心位置
チャンネルフェーダー	手前側の位置
クロスフェーダーアサイン切換スイッチ	[**THRU**] の位置

2 [▶/II] ボタンを押してトラックを再生する



3 [TRIM] ツマミを回す

チャンネルレベルインジケーターのオレンジ色のインジケーターがピークレベルで点灯するように [**TRIM**] ツマミを調整してください。

4 チャンネルフェーダーを奥側に動かす

5 [MASTER LEVEL] ツマミを回して、スピーカーの音声レベルを調整する

[**MASTER OUT 1**] 端子および [**MASTER OUT 2**] 端子から出力される音声レベルを適切な音量に調整します。

ヘッドホンで音声をモニターする

以下のように、ツマミなどの位置を設定してください

ツマミなどの名称	位置
HEADPHONES MIXING ツマミ	中心位置
HEADPHONES LEVEL ツマミ	左に回しきった位置

1 チャンネル 1 のヘッドホン [CUE] ボタンを押す

2 [HEADPHONES LEVEL] ツマミを回す

ヘッドホンから出力される音声レベルを適切な音量に調整します。

メモ

本機と Serato DJ ソフトウェアは、個性的な DJ プレイを可能にする多くの機能が搭載されています。それぞれの機能について、詳しくは Serato DJ のソフトウェアマニュアルをご覧ください。

- Serato DJ のソフトウェアマニュアルは、「Serato.com」からダウンロードできます。詳細については、「Serato DJ のソフトウェアマニュアルをダウンロードする」(p.34) をご覧ください。

システムを終了する

1 [Serato DJ] を終了する

ソフトウェアを閉じると、終了の確認のための画面がコンピューター上に表示されます。[**Yes**] をクリックして終了します。

2 本機の背面部にある [⏻] スイッチを押して、本機の電源をスタンバイにする

3 USB ケーブルをコンピューターから抜く

操作する（応用編）

これ以降の操作説明の記載では、Serato DJ のソフトウェアマニュアルで説明されていない、本機と Serato DJ を組み合わせたときの特有な機能について説明しています。

パフォーマンスパッドを使う

それぞれの機能はパッドモードボタン（[**HOT CUE**] モードボタン、[**ROLL**] モードボタン、[**SLICER**] モードボタン、[**SAMPLER**] モードボタン）で切り換えます。

ホットキューを使う

ホットキューを設定した位置から瞬時に再生できます。
- ホットキューポイントは 1 トラックにつき 8 か所まで設定および保存できます。

1 [HOT CUE] モードボタンを押す

[**HOT CUE**] モードボタンが点灯し、HOT CUE モードに切り換わります。

2 再生中または一時停止中にパフォーマンスパッドを押して、ホットキューポイントを設定する

各ホットキューポイントは、以下のようにパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てられます。

ホット キュー 1	ホット キュー 2	ホット キュー 3	ホット キュー 4
ホット キュー 5	ホット キュー 6	ホット キュー 7	ホット キュー 8

3 ホットキューポイントが設定されたパフォーマンスパッドを押す

ホットキューポイントから再生が始まります。
- [**SHIFT**] ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押すと、設定されたホットキューポイントを消去できます。

ロールを使う

パフォーマンスパッドを押すとパッドに割り当てられた拍数のループが設定され、パッドを押し続けているあいだループ再生を継続します。
ループロール再生中、バックグラウンドで元のリズムを保ったまま通常の再生を続けます。ループロール再生を解除すると、解除するまでに経過した位置から再生を再開します。

1 [ROLL] モードボタンを押す

[**ROLL**] モードボタンが点灯し、ロールモードに切り換わります。

2 [PARAMETER◀] ボタンまたは [PARAMETER▶] ボタンを押す

ボタンを押すたびに、パフォーマンスパッドに割り当てられるループロールの拍が切り換わります。
以下の 4 通りの設定ができます。
① 1/32 から 4 拍
② 1/16 から 8 拍
③ 1/8 から 16 拍
④ 1/4 から 32 拍
たとえば、「1/16 から 8 拍」の設定では、パッドの設定値は以下のようになります。

1/16 拍	1/8 拍	1/4 拍	1/2 拍
1 拍	2 拍	4 拍	8 拍

コンピューター画面にはループロールの設定されている拍の範囲が表示されます。

3 パフォーマンスパッドを押し続ける

押されたパッドに割り当てられた拍数で、ループロール再生します。ループロール再生中もバックグラウンドで再生を続けます。
- ループロール再生中に [**LOOP 1/2X**] ボタンまたは [**LOOP 2X**] ボタンを押して再生中のループロール音の拍数を変えることができます。

4 パフォーマンスパッドから指を放す

ループロール再生が解除され、バックグラウンドで進んだ位置から再生を開始します。

スライサーを使う

指定した範囲を 8 分割し、分割したそれぞれの区間をパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てます。パフォーマンスパッドの 1 つを押している間、パッドに割り当てられた区間の音声をループ再生します。
パッドに割り当てられた音声のループ再生中は、バックグラウンドで元のリズムを保ったまま再生を続けます。パッドを放してループ再生が終わると、それまでに経過した位置から再生を再開します。
- スライサー機能はビートグリッドが設定されていないトラックではお使いいただけません。ビートグリッドの設定方法の詳細については、Serato DJ のソフトウェアマニュアルをご覧ください。
  — 本機の [**GRID ADJUST**] ボタン、[**GRID SLIDE**] ボタンでビートグリッドの設定をすることもできます。 (p.9)

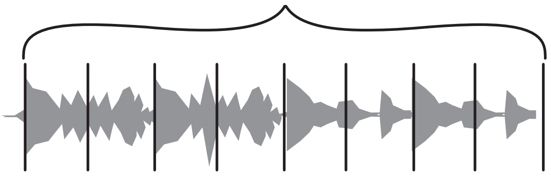
1 [SLICER] モードボタンを押す

[**SLICER**] モードボタンが点灯し、スライサーモードに切り換わります。
- [**SHIFT**] ボタンを押しながら、[**SLICER**] モードボタンを押すと、スライサーループモードに切り換わります
- 詳しくは、18 ページの「スライサーモードとスライサーループモードについて」をご覧ください。

2 [SHIFT] ボタンを押しながら、[PARAMETER◀] ボタンまたは [PARAMETER▶] ボタンを押す

スライサーの「DOMAIN」を設定します。[**SHIFT**] ボタンを押しながら、ボタンを押すたびに、DOMAIN の設定値が切り換わります。
「DOMAIN」は 2 拍、4 拍、8 拍、16 拍、32 拍、64 拍の 6 通りの設定ができます。
「DOMAIN」で設定した範囲を 8 分割した、それぞれのスライスされた区間は、以下のようにパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てられます。

DOMAIN



1 2 3 4 5 6 7 8
スライスされた区間 1 から 8

区間 1	区間 2	区間 3	区間 4
区間 5	区間 6	区間 7	区間 8

3 [PARAMETER◀] ボタンまたは [PARAMETER▶] ボタンを押す

スライサーの「QUANTIZATION」を設定します。ボタンを押すたびに、QUANTIZATION の設定値が切り換わります。
「QUANTIZATION」は 1/8、1/4、1/2、1 の 4 通りの設定ができます。
「QUANTIZATION」の設定値によって、パッドを押している間のループ再生の長さを変更できます。たとえば、「QUANTIZATION」の設定が「1」のときはパッドに割り当てられた区間全体をループ再生し、「QUANTIZATION」の設定が「1/2」のときはパッドに割り当てられた区間の先頭から 1/2 の長さだけをループ再生します。

4 パフォーマンスパッドを押し続ける

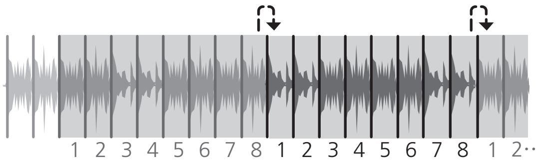
パッドを押し続けている間、ループ再生を続けます。
- ループ再生の長さは「QUANTIZATION」の設定により異なります。

パッドから手を放すと、バックグラウンドで再生している位置に戻ります。

❖ スライサーモードとスライサーループモードについて

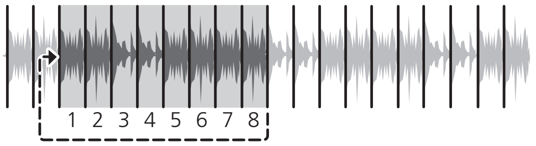
スライサーモード

再生位置が 8 分割された範囲の最後まで進むと、画面上の範囲が次の 8 分割表示に切り換わり、分割されたそれぞれの区間は新たに各パッドへ割り当てられます。



スライサーループモード

再生位置が 8 分割された範囲の最後まで進むと、再生位置が 8 分割された範囲の最初に戻ります。



サンプラーを使う

サンプラー (SP-6) のサンプラースロットにロードされたトラックを、パフォーマンスパッドで再生できます。

1 [PANEL] ボタンを押して、コンピューター画面上に [SP-6] パネルを開く

2 [SAMPLER] モードボタンを押す

[**SAMPLER**] モードボタンが点灯し、サンプラーモードに切り換わります。

3 [PARAMETER◀] ボタンまたは [PARAMETER▶] ボタンを押す

サンプラー (**SP-6**) のバンクを切り換えます。サンプラーは **A**、**B**、**C**、**D** の 4 つのバンクがあり、それぞれのバンクには 6 つのスロットがあります。

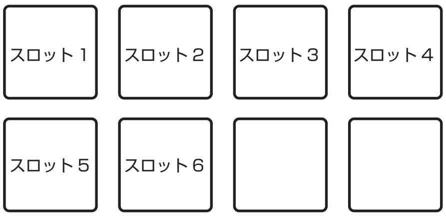
4 コンピューター画面のマウス操作でトラックをドラッグ & ドロップし、[SP-6] パネルの各スロットに曲をロードする

サンプラーの設定とロードした楽曲が保存されます。

5 パフォーマンスパッドを押す

押したパッドに割り当てられたスロットの音声を再生します。

- Serato DJ のサンプラーのモードによって再生の仕方が変わります。詳しくは Serato DJ のソフトウェアマニュアルを参照してください。



- [**SHIFT**] ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押すと、再生中のスロットの音声を停止します。

キュールー プを使う

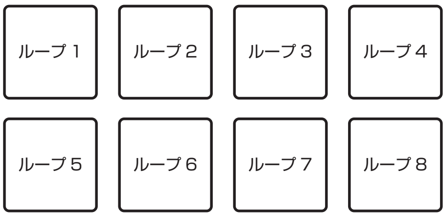
1 [SHIFT] ボタンを押しながら、[HOT CUE] モードボタンを押す

キュールー プモードに切り換わります。

2 再生中にパフォーマンスパッドを押す

ループインポイントが、ホットキュースロットへ設定されて、ループ再生が開始されます。

- このときループの長さは、オートループの拍数設定が適用されます。
  ループインポイントは、以下のようにパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てられます。



- キュールー プでは、ホットキューポイントがループインポイントとして利用されます。
  すでに、ホットキューポイントが設定されているパフォーマンスパッドが押されると、そのホットキューポイントからループ再生が開始されます。

3 ループ再生中に [PARAMETER◀] ボタンを押す

ループの長さが半分に縮小されます。
[**LOOP 1/2X**] ボタンを押しても、同じ効果が得られます。

4 ループ再生中に [PARAMETER▶] ボタンを押す

ループの長さが 2 倍に延長されます。
[**LOOP 2X**] ボタンを押しても、同じ効果が得られます。

5 ループ再生中に [SHIFT] ボタンを押しながら、[PARAMETER◀] ボタンまたは [PARAMETER▶] ボタンを押す

ループの長さはそのままで、ループが移動します (ループシフト)。

- 本機能 (ループシフト) は Serato DJ Ver. 1.6.0 では使用できません。将来のバージョンアップにて対応予定です。

6 [SHIFT] ボタンを押しながら、同じパフォーマンスパッドを押す

設定されているループインポイントに戻り、ループ再生を続けます。

7 同じパフォーマンスパッドをもう一度押す

ループ再生が解除されます。

セーブドループを使う

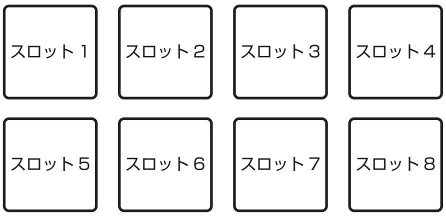
Serato DJ のループスロットにループを保存したり、保存したループを呼び出します。

1 [SHIFT] ボタンを押しながら、[ROLL] モードボタンを押す

セーブドループモードに切り換わります。

2 ループ再生中にパフォーマンスパッドを押す

ループが Serato DJ のループスロットに割り当てられます。



3 [SHIFT] ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押す

ループの先頭に戻って再生を続けます。

4 同じパフォーマンスパッドをもう一度押す

ループ再生が解除されます。

5 ループ再生中に [PARAMETER◀] ボタンを押す

ループの長さが半分に縮小されます。

6 ループ再生中に [PARAMETER▶] ボタンを押す

ループの長さが 2 倍に延長されます。

7 ループ再生中に [SHIFT] ボタンを押しながら、[PARAMETER◀] ボタンまたは [PARAMETER▶] ボタンを押す

ループの長さはそのままで、ループが移動します (ループシフト)。

- 本機能 (ループシフト) は Serato DJ Ver. 1.6.0 では使用できません。将来のバージョンアップにて対応予定です。

スリップを使う

スリップをオンに設定すると、スクラッチプレイ中、ループ再生中、またはホットキューの再生中にバックグラウンドで元のリズムを保ったまま通常の再生を続けます。スクラッチプレイ、ループ再生、またはホットキューの再生を解除すると、解除するまでに経過した位置から通常の再生を再開します。
リズムを崩すことなくさまざまなパフォーマンスが可能です。

- [**SLIP**] ボタンは、スリップモードにしたときに点灯し、バックグラウンドで再生を続けている間は点滅します。

スリップスクラッチプレイ

1 [SHIFT] ボタンを押しながら、[SLIP] ボタンを押す

VINYL モードに切り換えます。

2 再生中にジョグダイヤルの天面を操作してスクラッチプレイする

スクラッチプレイ中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。

3 ジョグダイヤルの天面から手を放す

バックグラウンドで進んだ位置から再生を開始します。

- スリップモードを解除するときは、もう一度 [**SLIP**] ボタンを押します。

スリップホットキュー

1 [HOT CUE] モードボタンを押す
ホットキューモードにします。

2 ホットキューを設定する
パフォーマンスパッドを押してホットキューを設定します。

3 [SLIP] ボタンを押す
スリップモードに切り換えます。

4 再生中にパフォーマンスパッドを押し続ける
ホットキューを設定した位置から再生が始まります。パフォーマンスパッドを押し続けている間、再生を続けます。
ホットキューの再生中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。

5 パフォーマンスパッドから指を放す
バックグラウンドで進んだ位置から再生を開始します。
- スリップモードを解除するときは、もう一度 [SLIP] ボタンを押します。

スリップブレイキング

1 [STOP TIME] ツマミを調整する
STOP TIME の設定はトラックの再生状態から停止するまでの速度を調整します。
スリップブレイキングを使うときは、[STOP TIME] ツマミを 9 時付近に調整してゆっくりと停止する設定にしておきます。

2 [SLIP] ボタンを押す
スリップモードに切り換えます。

3 再生中に [PLAY/PAUSE ►/II] ボタンを押す
ボタンを押し続けている間、ゆっくりと再生が止まります。ゆっくりと停止している間もバックグラウンドで通常の再生を続けます。

4 もう一度、[PLAY/PAUSE ►/II] ボタンを押す
バックグラウンドで進んだ位置から再生を開始します。
- スリップモードを解除するときは、もう一度 [SLIP] ボタンを押します。

スリップオートループ

1 [SLIP] ボタンを押す
スリップモードに切り換えます。

2 [LOOP 1/2X] ボタンまたは [LOOP 2X] ボタンを押す
オートループの拍を選択します。

3 [AUTO LOOP] ボタンを押す
指定した拍数でループが設定されて、ループ再生が始まります。
ループ再生中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。

4 もう一度、[AUTO LOOP] ボタンを押す
ループが解除され、バックグラウンドで進んだ位置から再生を開始します。
- スリップモードを解除するときは、もう一度 [SLIP] ボタンを押します。

スリップマニュアルループ

❖ ループを作ってスリップさせる

1 [SLIP] ボタンを押す
スリップモードに切り換えます。

2 [LOOP IN] ボタンを押してから [LOOP OUT] ボタンを押す
ループ再生を始めます。
ループ再生中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。

3 [SHIFT] ボタンを押しながら、[LOOP OUT] ボタンを押す
ループが解除され、バックグラウンドで進んだ位置から再生を開始します。
- スリップモードを解除するときは、もう一度 [SLIP] ボタンを押します。

フェーダースタート機能を使う

- DVS システムを使用している場合、Serato DJ が [ABS] モードに設定されているときは、フェーダースタート機能は使えません。

チャンネルフェーダースタート機能を使う

- チャンネルフェーダースタート機能を使うときはクロスフェーダーアサイン切換スイッチを [THRU] に設定してください。

1 キューを設定する
再生を開始したい位置で一時停止して、対応するデッキの [CUE] ボタンを押します。
- 一時停止中に、[SHIFT] ボタンを押しながらチャンネルフェーダーを奥側から一番手前の位置にしたときも、キューを設定することができます。

2 [SHIFT] ボタンを押しながら、チャンネルフェーダーを一番手前の位置から奥側に動かす
設定したキューポイントからトラックの再生を始めます。
- 再生中に [SHIFT] ボタンを押しながら、チャンネルフェーダーの位置を一番手前に戻すと、設定されているキューポイントに瞬時に戻り、一時停止状態になります (バックキュー)。
  キューが設定されていないときはトラックの先頭から再生を始めます。
  ユーティリティー設定でチャンネルフェーダースタートを開始すると同時に SYNC する設定に変更することもできます。
  キュー待機中に、[SHIFT] ボタンを押しながらチャンネルフェーダーを奥側から一番手前の位置にしたときは、設定したキューポイントからトラックの再生を始めます。

クロスフェーダースタート機能を使う

クロスフェーダースタート機能を使うときは、動かしたいチャンネルのクロスフェーダーアサイン切換スイッチを [A] もしくは [B] に設定してください。

1 キューを設定する
再生を開始したい位置で一時停止して、対応するデッキの [CUE] ボタンを押します。
- 一時停止中に、[SHIFT] ボタンを押しながらクロスフェーダーを左端または右端の位置にしたときも、キューを設定することができます。

2 クロスフェーダーを動かして、左端または右端の位置にする
フェーダースタートさせたいチャンネルが設定されている側とは反対側の端に設定します。

3 [SHIFT] ボタンを押しながら、クロスフェーダーを左端または右端の位置から逆側に動かす
設定したキューポイントからトラックの再生を始めます。
- 再生中に [SHIFT] ボタンを押しながら、クロスフェーダーの位置を元の位置に戻すと、設定されているキューポイントに瞬時に戻り、一時停止状態になります (バックキュー)。
  キューが設定されていないときはトラックの先頭から再生を始めます。
  キュー待機中に、[SHIFT] ボタンを押しながらクロスフェーダーを左端から右端 (または右端から左端) の位置にしたときは、設定したキューポイントからトラックの再生を始めます。

サンプラーベロシティを使う

サンプラーベロシティモードがオンのとき、パフォーマンスパッドをたたく強さに応じて、サンプル音量のレベルが変化します。パフォーマンスパッドを強くたたくと音量レベルが大きくなり、パフォーマンスパッドを弱くたたくと音量レベルが小さくなります。
サンプラーベロシティモードがオフのときは、パフォーマンスパッドをたたく強さに関係なく、Serato DJ ソフトウェアで設定した音量レベルでトリガーされます。

サンプラーベロシティモードをオンにする

[SHIFT] ボタンを押しながら、[SAMPLER] モードボタンを押すとサンプラーベロシティモードがオンになります。

サンプラーベロシティモードをオフにする

[SAMPLER] モードボタンを押すと、通常のサンプラーモード (サンプラーベロシティモードはオフ) になります。
- ユーティリティーモードでは、ベロシティカーブとアフタータッチの設定をすることができます。
  アフタータッチが有効のとき、パフォーマンスパッドを押し続けている間の押す強さに応じて、サンプルの音量レベルが変化します。またユーティリティーモードでは、サンプラーベロシティモードへの入り方を変更することができます。
  詳しくは、24 ページの「サンプラーベロシティモードのベロシティカーブ設定を変更する」をご覧ください。

クロスフェーダーの操作負荷を調整する

マイナスドライバーを使って、クロスフェーダーを操作するときの負荷 (重さ) を調整できます。

- クロスフェーダーは、フェーダー両端の遊び (カットラグ) を調整できます。詳しくは、26 ページの「クロスフェーダーのカットラグを調整する」をご覧ください。

1 クロスフェーダーを右側の端に寄せる

2 [FEELING ADJUST] 調整用穴にマイナスドライバーを差し込んで回す

— 時計回りに回す：負荷が小さく (軽く) なります。
— 反時計回りに回す：負荷が大きく (重く) なります。

曲を解析する

本機のロータリーセレクターを押してデッキに曲をロードすると曲の解析が実行されますが、解析が終了するまで BPM や波形表示に時間がかかる場合があります。Serato DJ ソフトウェアをオフラインプレーヤーとして使用すると、事前に曲を解析することができます。解析の終了している曲は、デッキに曲をロードしたあとすぐに BPM や波形が表示されるようになります。
Serato DJ でのオフラインプレーヤーや曲の解析方法についての詳細は、Serato DJ のソフトウェアマニュアルをご覧ください。

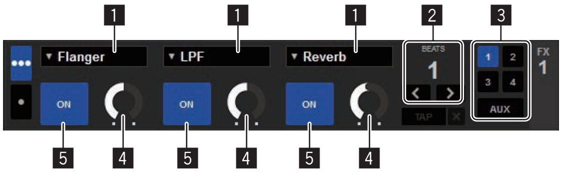
- 楽曲の数によっては、解析に時間がかかる場合があります。

エフェクトを使う

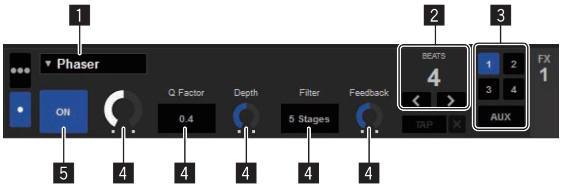
Serato DJ には FX1 と FX2 の 2 つのエフェクトユニットがあります。これらのエフェクトは選択したデッキに適用したり、サンプラー音声 (AUX) に適用することができます。ここでは、本機を操作してチャンネル 1 にエフェクトユニットを割り当てる方法の説明をします。

Serato DJ のエフェクトユニットの画面表示

マルチ FX モード:エフェクトユニットあたり、最大で 3 つのエフェクトが選択可能で、各エフェクトには 1 つの調整可能なパラメーターがあります。



シングル FX モード:エフェクトユニットあたり、1 つのエフェクトが選択可能で、調整可能な複数のパラメーターがあります。



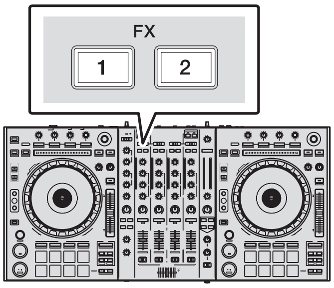
1 エフェクトの種類が表示されます。
2 エフェクト時間が表示されます。
3 エフェクトユニットが割り当てられているデッキ番号が表示されます。
4 エフェクトパラメーターの状態が表示されます。
5 エフェクトのオン / オフが表示されます。

マルチ FX モードで操作する

1 [SHIFT] ボタンを押しながら、[TAP] ボタンを押して Serato DJ の DJ-FX モードをマルチ FX モードにする

ボタンを操作するたびに、マルチ FX モードとシングル FX モードが交互に切り換わります。

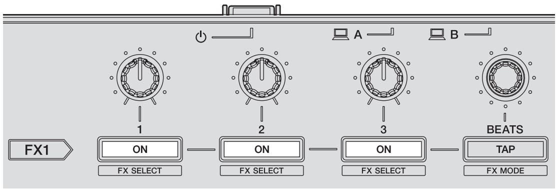
2 チャンネル 1 の [FX1] ボタンまたは [FX2] ボタンを押して、割り当てたいエフェクトユニットを選ぶ



Serato DJ の画面上で、エフェクトを割り当てたデッキの番号がハイライトで表示されます。

3 [SHIFT] ボタンを押しながら、エフェクトパラメーター 1 ボタンを押して、1 番目のエフェクトの種類を選ぶ

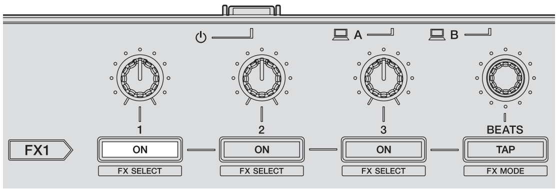
2 番目のエフェクトの種類を選ぶには、[**SHIFT**] ボタンを押しながら、エフェクトパラメーター 2 ボタンを押します。
3 番目のエフェクトの種類を選ぶには、[**SHIFT**] ボタンを押しながら、エフェクトパラメーター 3 ボタンを押します。



現在選ばれているエフェクトの種類は、Serato DJ の画面上に表示されます。

4 エフェクトパラメーター 1 ボタンを押して、1 番目のエフェクトをオンにする

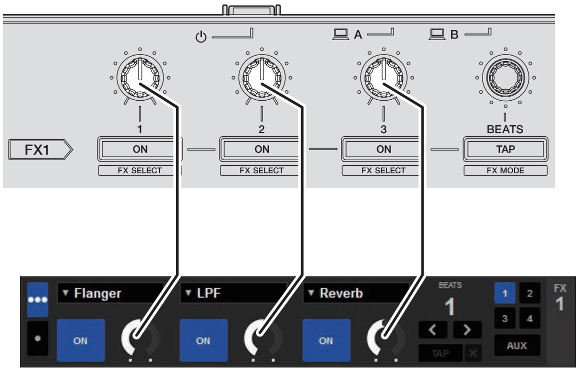
エフェクトパラメーター 2 ボタンを押すと、2 番目のエフェクトがオンになります。
エフェクトパラメーター 3 ボタンを押すと、3 番目のエフェクトがオンになります。



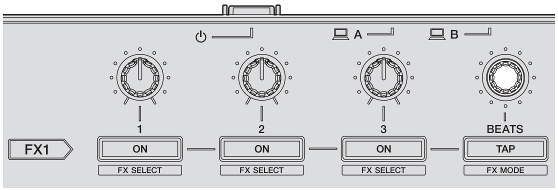
Serato DJ の画面上で、対応するエフェクトの [**ON**] キーがハイライトで表示されます。

5 エフェクトパラメーター 1 ツマミを操作して、1 番目のエフェクトのパラメーターを調整する

2 番目のエフェクトのパラメーターを調整するには、エフェクトパラメーター 2 ツマミを操作します。
3 番目のエフェクトのパラメーターを調整するには、エフェクトパラメーター 3 ツマミを操作します。



6 [FX BEATS] ツマミを回して、エフェクト時間を調整する

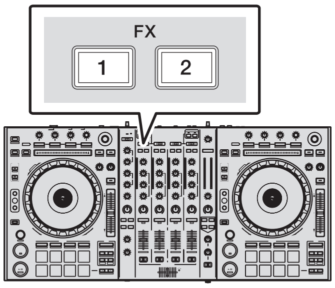


- エフェクト時間の基準となる BPM 値を、[**TAP**] ボタンをたたく間隔から設定することもできます。
  詳しくは、21 ページの「エフェクトのテンポモードを切り換える」をご覧ください。

シングル FX モードで操作する

1 [SHIFT] ボタンを押しながら、[TAP] ボタンを押して Serato DJ の DJ-FX モードをシングル FX モードにする
ボタンを操作するたびに、マルチ FX モードとシングル FX モードが交互に切り換わります。

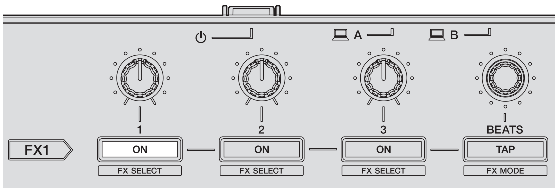
2 チャンネル 1 の [FX1] ボタンまたは [FX2] ボタンを押して、割り当てたいエフェクトユニットを選ぶ



Serato DJ の画面上で、エフェクトを割り当てたデッキの番号がハイライトで表示されます。

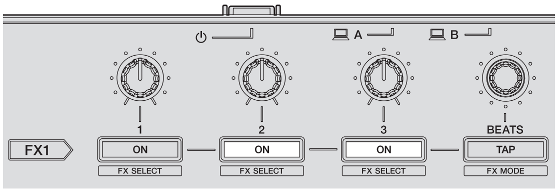
3 [SHIFT] ボタンを押しながら、エフェクトパラメーターボタンのいずれかを押してエフェクトの種類を選ぶ
選ばれたエフェクトは、Serato DJ の画面上に表示されます。

4 エフェクトパラメーター 1 ボタンを押して、エフェクトをオンにする



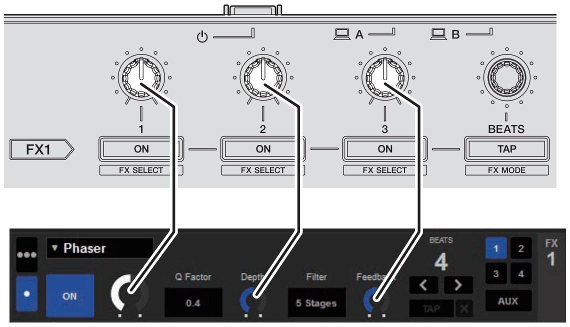
ボタンを押すたびに、エフェクトのオン / オフが切り換わります。
- Serato DJ の画面上で、エフェクトの [ON] キーがハイライト表示されます。

5 エフェクトパラメーター 2 ボタンまたはエフェクトパラメーター 3 ボタンを操作して、エフェクトのパラメーターを切り換える

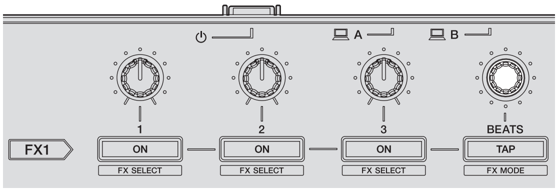


- エフェクトの種類によっては、ボタンを操作しても点灯しない場合があります。

6 エフェクトパラメーターツマミを操作して、エフェクトのパラメーターを調整する



7 [FX BEATS] ツマミを回して、エフェクト時間を調整する



- エフェクト時間の基準となる BPM 値を、[TAP] ボタンをたたく間隔から設定することもできます。
  詳しくは、21 ページの「エフェクトのテンポモードを切り換える」をご覧ください。

エフェクトのテンポモードを切り換える

Serato DJ のエフェクトには、エフェクトのテンポを設定する方法として、「オートテンポモード」と「マニュアルテンポモード」の 2 つモードがあります。
- 初期状態はオートテンポモードに設定されています。

❖ オートテンポモード

トラックの BPM 値がエフェクトのテンポの基準となります。

❖ マニュアルテンポモード

エフェクトの基準となる BPM 値を、[TAP] ボタンを指でたたいた間隔から算出します。

❖ マニュアルテンポモードに切り換える

オートテンポモード中に、[TAP] ボタンを 3 回以上押す
- マニュアルテンポモード中に、[TAP] ボタンを 1 秒以上押すと、オートテンポモードへ切り換わります。

SOUND COLOR FX を使う

[COLOR] ツマミに連動して変化するエフェクトです。

1 [SOUND COLOR FX] ボタンのいずれかを押す
エフェクトの種類を選びます。
押したボタンが点滅します。
- すでに [SOUND COLOR FX] ボタンのいずれかが選ばれていても、新たに別の [SOUND COLOR FX] ボタンを選んで押すと、新たに押したボタンが選ばれます。
- エフェクトの種類については、22 ページの「SOUND COLOR FX の種類」をご覧ください。
- すべてのチャンネルに同じエフェクトが設定されます。

2 [COLOR] ツマミを回す
ツマミを回したチャンネルの音声にエフェクトが加わります。

SOUND COLOR FX を終了する

点滅している [SOUND COLOR FX] ボタンを押す
エフェクトが解除されます。

オシレーター機能を使う

ノイズを基本とした内蔵音源を加えることができます。

1 [OSC ASSIGN] スイッチを切り換えて、オシレーター音を追加したいチャンネルを選ぶ
- [CH3]：チャンネル 3 にオシレーター音を追加します。
- [CH4]：チャンネル 4 にオシレーター音を追加します。
- [MASTER]：マスター出力にオシレーター音を追加します。

2 [OSCILLATOR PARAMETER] ツマミを回す
ツマミを左右に回すことによって、オシレーター音の音色を調整します。

3 [OSCILLATOR VOLUME] ツマミを回す
オシレーター音の音量レベルを調整します。

4 [OSCILLATOR SELECT] ボタンのいずれかを押す
オシレーター音の種類を選びます。
押したボタンが一定時間点滅します。
- オシレーター音の種類については、22 ページの「オシレーター音の種類」をご覧ください。
- 複数のオシレーター音を選ぶことができます。
- [NOISE] ボタンは押している間、音が出続けます。

オシレーター機能を終了する

オシレーター音は一定時間を過ぎると自動的になくなり、[OSCILLATOR SELECT] ボタンが点滅から点灯になります。

エフェクトの種類

SOUND COLOR FX の種類

エフェクト名	説明	[COLOR] ツマミ
ECHO	元の音声より少し遅れた音を減衰させながら数回出力し反響効果を加えます。	左回し：エコー音のディレイ時間が徐々に長くなっていきます。 右回し：エコー音のディレイ時間が徐々に短くなっていきます。
JET	フランジャー効果を与えます。	左回し：低音の強いフランジャー効果を加えます。 右回し：高音の強いフランジャー効果を加えます。
PITCH	音声の音程を変化させます。	左回し：音程が下がります。 右回し：音程が上がります。
FILTER	フィルターを通した音声を出力します。	左回し：ローパスフィルターのカットオフ周波数が徐々に下がります。 右回し：ハイパスフィルターのカットオフ周波数が徐々に上がります。

- エコー音のディレイ時間は、Serato DJ ソフトウェア側から BPM 値を受け取れる場合とそうでない場合で仕様が異なります。
  Serato DJ ソフトウェア側から BPM 値を受け取れる条件：
  — Serato DJ で楽曲がロードされたデッキに BPM 情報がある場合
  — [**LINE, PHONO, USB**] 切換スイッチ、または [**CD, USB**] 切換スイッチが [**USB**] の位置になっている場合
  Serato DJ ソフトウェア側から BPM 値を受け取れる条件になっているときは、エコー音のディレイ時間は拍数での調整ができます。それ以外の場合はエコー音のディレイ時間が、左回しの場合は 100 msec から徐々に長く、右回しの場合は 125 msec から徐々に短くなります。

オシレーター音の種類

エフェクト名	説明	OSCILLATOR PARAMETER ツマミ
NOISE	ホワイトノイズを生成します。	左回し：ホワイトノイズを通すフィルターのカットオフ周波数が徐々に下がります。 右回し：ホワイトノイズを通すフィルターのカットオフ周波数が徐々に上がります。
CYMBAL	シンバルのような音を生成します。	左回し：シンバル音の音程が下がっていきます。 右回し：シンバル音の音程が上がっていきます。
SIREN	サイレンのような音を生成します。	左回し：サイレン音の音程が下がっていきます。 右回し：サイレン音の音程が上がっていきます。
HORN	ホーンのような音を生成します。	左回し：ホーン音の音程が下がっていきます。 右回し：ホーン音の音程が上がっていきます。

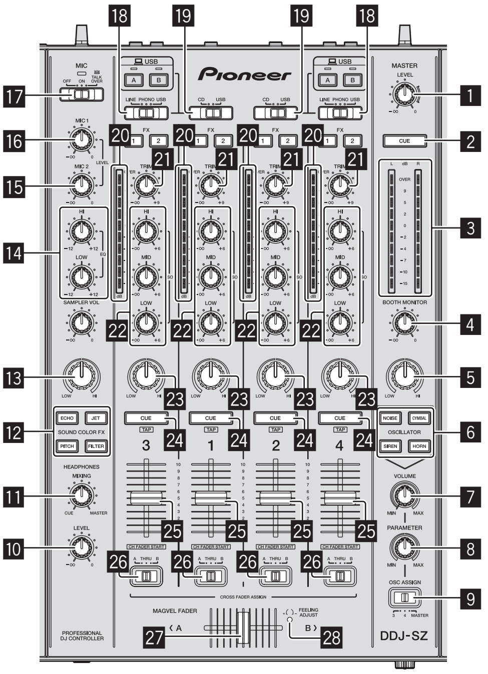
外部入力を使う

本機は CD プレーヤーやアナログターンテーブルなどを接続できる外部入力を 4 系統備えてます。本機の「4-CHANNEL MIXER」はコンピューターを介さずに外部入力の音声をミックスできます。以下に示すミキサー機能はコンピューターと接続していなくても動作します。

メモ

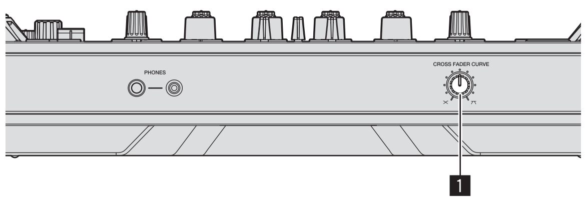
- 各項目の詳細については「接続する」(p.6) および「各部の名称とはたらき」(p.8) を参照してください。
- 次の機能は外部入力に対しては動作しません。
  — トラックのテンポ設定 ([**SHIFT**] ボタンを押しながら、ヘッドホン [**CUE**] ボタンを押す)
  — フェーダースタート機能 ([**SHIFT**] ボタンを押しながら、チャンネルフェーダーもしくはクロスフェーダーを動かす)
  — Serato DJ ソフトウェアのエフェクトをかける
- Serato DJ ソフトウェアに対しての各ツマミなどの調整値と、外部入力に対しての各ツマミなどの調整値は異なります。

ミキサー部



1. **MASTER LEVEL** ツマミ
2. **MASTER CUE** ボタン
3. マスターレベルインジケーター
4. **BOOTH MONITOR** ツマミ
5. **MASTER OUT COLOR** ツマミ
6. **OSCILLATOR SELECT** ボタン
7. **OSCILLATOR VOLUME** ツマミ
8. **OSCILLATOR PARAMETER** ツマミ
9. **OSC ASSIGN** 切換スイッチ
10. **HEADPHONES LEVEL** ツマミ
11. **HEADPHONES MIXING** ツマミ
12. **SOUND COLOR FX** ボタン
13. **SAMPLER, MIC COLOR** ツマミ
14. **EQ** (**HI**, **LOW**) ツマミ
15. **MIC2** ツマミ
16. **MIC1** ツマミ
17. **OFF**, **ON**, **TALK OVER** 切換スイッチ
18. **LINE, PHONO, USB** 切換スイッチ
19. **CD, USB** 切換スイッチ
20. チャンネルレベルインジケーター
21. **TRIM** ツマミ
22. **ISO** (**HI**、**MID**、**LOW**) ツマミ
23. **COLOR** ツマミ
24. ヘッドホン **CUE** ボタン
25. チャンネルフェーダー
26. クロスフェーダーアサイン切換スイッチ
27. クロスフェーダー
28. **FEELING ADJUST** 調整用穴

本体前面部



1. **CROSS FADER CURVE** 切換ツマミ

マイクを使う

1 [MIC1] 端子または [MIC2] 端子にマイクを接続する

2 [OFF, ON, TALK OVER] 切換スイッチを [ON] または [TALK OVER] に設定する

— [ON]：インジケーターが点灯します。
— [TALK OVER]：インジケーターが点滅します。

- [TALK OVER] に設定すると、マイクに－ 10 dB 以上の音声が入力されたとき [MIC1] チャンネル以外の音声が 18 dB (初期設定値) 減衰します。
- [TALK OVER] を選んでいるときの音声減衰レベルはユーティリティーモードで変更できます。変更方法については、26 ページの「トークオーバー機能のレベルを変更する」をご覧ください。
- トークオーバーモードは、ノーマルモードとアドバンスドモードに切り換えられます。変更方法については、25 ページの「トークオーバー機能の設定を変更する」をご覧ください。

3 [MIC1] ツマミまたは [MIC2] ツマミを回す

[MIC1] チャンネルから出力される音声レベルを調整します。

- 右に回しすぎると大音量で音声が出力されますのでご注意ください。

4 マイクに音声を入力する

❖ 音質を調整する

[EQ (HI, LOW)] ツマミを回す

各ツマミで調整できる音域は以下のとおりです。

- **HI**：－ 12 dB ～＋ 12 dB (10 kHz)
- **LOW**：－ 12 dB ～＋ 12 dB (100 Hz)

DJ プレーヤーなどの音声をミックスする

1 [CD] 端子または [LINE] 端子に DJ プレーヤーなどのラインレベル出力機器を接続する

2 [LINE, PHONO, USB] 切換スイッチ、または [CD, USB] 切換スイッチを [LINE] または [CD] に設定する

3 [TRIM] ツマミおよびチャンネルフェーダーを操作して、各チャンネルから出力される音声レベルを調整する

アナログターンテーブルなどの音声をミックスする

1 [PHONO] 端子にアナログプレーヤーなどのフォノレベル (MM カートリッジ用) の出力機器を接続する

2 [LINE, PHONO, USB] 切換スイッチを [PHONO] に設定する

3 [TRIM] ツマミおよびチャンネルフェーダーを操作して、各デッキから出力される音声レベルを調整する

設定を変更する

ユーティリティーモードを起動する

ＤＪアプリケーションを起動したままユーティリティーモードを起動させると、設定する状態が正しく表示されない場合があります。

1 USB ケーブルをコンピューターから抜く

2 本機の背面部にある [⏻] スイッチを押して、本機の電源をスタンバイにする

本機の電源をスタンバイにします。

3 左側のデッキの [**SHIFT**] ボタンと [**PLAY/PAUSE ►/II**] ボタンの両方を押しながら、本機の背面部にある [⏻] スイッチを押す

ユーティリティーモードが起動します。

4 ユーティリティー設定モードにしたあとで、設定を変更したい項目についてコントローラーを操作する

変更可能な設定については、以下の説明をご覧ください。

5 本機の背面部にある [⏻] スイッチを押して、本機の電源をスタンバイにする

設定を保存するには、本機の背面部にある [⏻] スイッチをスタンバイにして、ユーティリティーモードを終了させます。

ユーティリティーモード

以下の設定を変更することができます。
- MIDI コントローラー設定
- フェーダースタート設定
- マスター出力のアッテネーターレベル設定
- スリップモードフラッシング設定
- デモモード設定
- サンプラーベロシティモードのベロシティカーブ設定
- サンプラーベロシティモードのアフタータッチ設定
- ジョグダイヤルの MIDI メッセージの送信間隔設定
- オートスタンバイ機能設定
- [NEEDLE SEARCH] パッドを操作設定
- トークオーバー機能設定
- トークオーバー機能レベル設定
- クロスフェーダーのカットラグ設定
- ブースモニターへのマイク出力設定
- ピークリミッター設定
- ジョグリングの明るさ設定

強制的に一般的な MIDI コントローラーとして使用する

本機は、Serato DJ の起動の有無に応じて、以下のように動作が自動的に切り換わります。
- Serato DJ が起動している場合、Serato DJ の機能に合わせたコントローラーとして動作します。
- Serato DJ が起動していない場合、一般的な MIDI コントローラーとして動作します。

Serato DJ が起動していたとしても、強制的に一般的な MIDI コントローラーとして動作させることもできます。

左側のデッキの [KEY LOCK] ボタンを押す

- [**KEY LOCK**] ボタン消灯 : Serato DJ の起動の有無に応じて、動作が自動的に切り換わります。
- [**KEY LOCK**] ボタン点灯 : Serato DJ の起動の有無にかかわらず、強制的に一般的な MIDI コントローラーとして動作します。

フェーダースタートの設定を変更する

フェーダースタート機能の設定を変更できます。
- 初期設定は SYNC 設定なしのフェーダースタートです。

左側のデッキの、エフェクトパラメーターボタンのいずれかを押す

- エフェクトパラメーター 1 ボタン点灯：SYNC 設定ありのフェーダースタート (フェーダースタート開始と同時に SYNC 機能が働きます。)
- エフェクトパラメーター 2 ボタン点灯：SYNC 設定なしのフェーダースタート (フェーダースタート開始時に SYNC 機能は働きません。)
- エフェクトパラメーター 3 ボタン点灯：フェーダースタート機能は無効

マスター出力のアッテネーターレベルを設定する

- 初期設定は 0 dB です。

左側のデッキの [HOT CUE] モードボタン、[ROLL] モードボタン、[SLICER] モードボタンのいずれかを押す

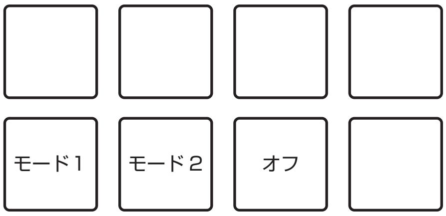
- [**HOT CUE**] モードボタン点灯：0 dB (アッテネーターなし)
- [**ROLL**] モードボタン点灯：－ 3 dB
- [**SLICER**] モードボタン点灯：－ 6 dB

スリップモードフラッシングの設定を変更する

スリップモードをオンにしたときのスリップモードで操作できるボタン（ジョグダイヤルのインジケーター、[**AUTO LOOP**] ボタン、[**PLAY/PAUSE ►/II**] ボタンなど）の点滅する / しないを設定できます。設定によっては、スリップモード中の [**SLIP**] ボタンの点滅方法も変化します。
- 初期設定ではスリップモードフラッシングはモード 1 です。

左側のパフォーマンスパッドを押して、設定を選ぶ

どのパッドが点灯しているかにより、現在選ばれている設定が分かります。



- モード 1：スリップモードをオンにしたとき、スリップモードで操作できるボタンが約 1 秒間点滅します。スリップモード中はバックグラウンドで再生を続けているあいだのみ、[**SLIP**] ボタンが点滅します。
- モード 2：スリップモードをオンにしたとき、スリップモードで操作できるボタンが約 1 秒間点滅します。[**SLIP**] ボタンはスリップモード中ずっと点滅します。
- オフ：スリップモードで操作できるボタンは点滅しません。スリップモード中はバックグラウンドで再生を続けているあいだのみ、[**SLIP**] ボタンが点滅します。

デモモードを無効にする

本機は通常の使用状態で 10 分間何の操作もないとき、デモモードを実行しますが、このデモモードは設定を変更することができます。
- 初期設定ではデモモードは 10 分間操作がないときに開始されます。
- デモモード中は本機のいずれかのツマミやボタンを操作すると、デモモードを解除できます。

[SOUND COLOR FX] ボタンのいずれかを押す

- [**ECHO**] ボタン点灯：デモモードは無効
- [**JET**] ボタン点灯：デモモードは 1 分間操作がないときに開始
- [**PITCH**] ボタン点灯：デモモードは 5 分間操作がないときに開始
- [**FILTER**] ボタン点灯：デモモードは 10 分間操作がないときに開始

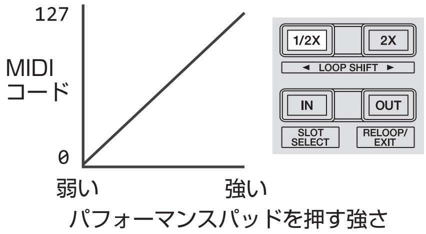
サンプラーベロシティモードのベロシティカーブ設定を変更する

サンプラーベロシティモードのベロシティカーブを設定します。ベロシティカーブは 4 種類のうちから選択できます。
- 初期設定はカーブ 3 です。

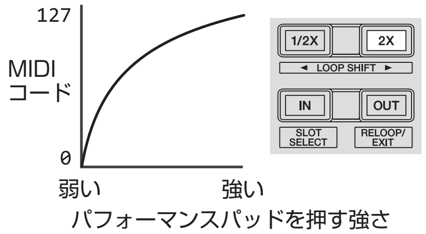
設定を行いたいデッキ側にある [AUTO LOOP] ボタンを押す

[**AUTO LOOP**] ボタンを押すたびに、ベロシティカーブの設定が変わります。
[**LOOP 1/2X**] ボタン、[**LOOP 2X**] ボタン、[**LOOP IN**] ボタン、[**LOOP OUT**] ボタンの点灯状況により、現在の設定値を示します。

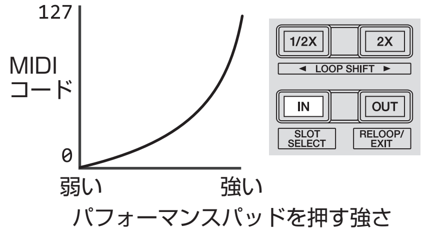
カーブ 1



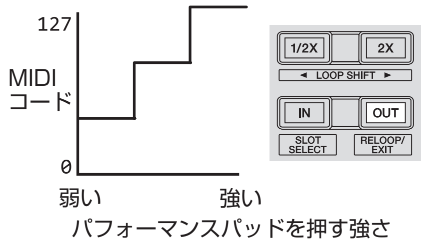
カーブ 2



カーブ 3



カーブ 4



サンプラーベロシティモードのアフタータッチ設定を有効にする

本機のパフォーマンスパッドのサンプラーベロシティモードがオンのとき、アフタータッチ設定のオン / オフができます。
アフタータッチ設定 無効：パフォーマンスパッドを押した瞬間の押した強さに応じて、サンプラーの音量が変化し、パッドを押し続けている間の音量は変化しません。
アフタータッチ設定 有効：パフォーマンスパッドを押した瞬間の押した強さ、およびパッドを押し続けている間の押す強さに応じて、サンプラーの音量が変化します。

- 初期設定ではアフタータッチ設定は無効です。

左側のデッキの [SAMPLER] モードボタンを押す

- [**SAMPLER**] モードボタン点灯：アフタータッチ設定 有効
- [**SAMPLER**] モードボタン消灯：アフタータッチ設定 無効

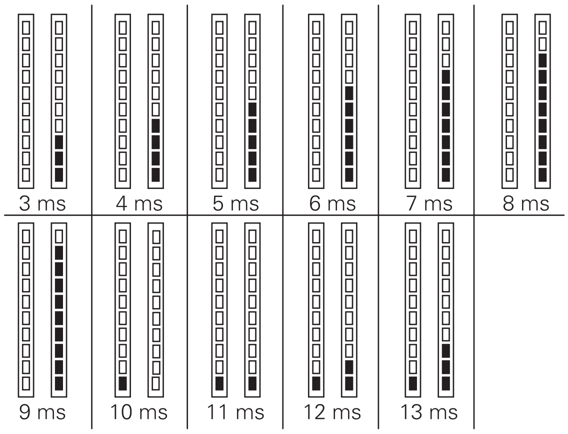
ジョグダイヤルの MIDI メッセージの送信間隔を調整する

本機はジョグダイヤルの MIDI メッセージの送信間隔を調整するモードを備えています。
本機から送信される、ジョグダイヤルの MIDI メッセージの送信間隔が短い場合、お使いのコンピューターの OS やスペックによってはジョグダイヤルが正しく動作しないことがあります。そのような場合は以下の手順に従って MIDI メッセージの送信間隔を調整してください。

- MIDI 送信間隔は短い方の設定から、問題が起こらない長さまで上げてください。
- 初期設定は 4 ms です。

左側のデッキの [SHIFT] ボタンを押す

ボタンを押すたびに、MIDI の送信間隔の設定が変わります。マスターレベルインジケーターの点灯により現在の設定値がわかります。



オートスタンバイ機能を無効にする

- オートスタンバイ機能をオンに設定しているとき、以下の条件をすべて満たしたまま 4 時間を過ぎると自動的にスタンバイ状態になります。

— [**MIC1**] ツマミ、[**MIC2**] ツマミを除く、本機のボタンやツマミなどを操作していない。
— 本機の入力端子に -18 dB 以上の音声信号が入力されない。

- [**PANEL** (**WAKE UP**)] ボタンを押すとスタンバイ状態が解除されます。
- 初期設定ではオートスタンバイ機能は有効です。

左側デッキの [GRID ADJUST] ボタンを押す

- [**GRID ADJUST**] ボタン点灯：オートスタンバイ機能有効
- [**GRID ADJUST**] ボタン消灯：オートスタンバイ機能無効

[NEEDLE SEARCH] パッドの操作を制限する

再生中の誤操作を防ぐために、[NEEDLE SEARCH] パッドの操作を制限することができます。
制限中はジョグダイヤルの天面に触れているとき、または再生が停止しているときのみ [NEEDLE SEARCH] パッドを使ったサーチ操作ができます。
初期設定では、[NEEDLE SEARCH] パッドは制限されません。

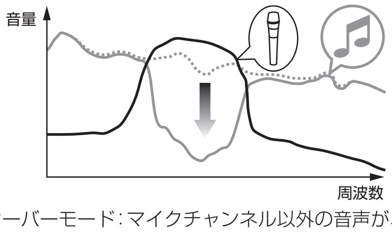
左側デッキの [CENSOR] ボタンを押す

- [**CENSOR**] ボタン点灯：[NEEDLE SEARCH] パッドの操作を制限する
- [**CENSOR**] ボタン消灯：[NEEDLE SEARCH] パッドの操作を制限しない

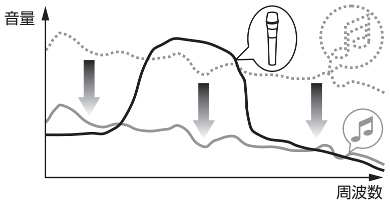
トークオーバー機能の設定を変更する

トークオーバーのモードについて

トークオーバー機能には、以下 2 つのモードがあります。
アドバンスド・トークオーバーモード：マイクチャンネル以外の音声が、トークオーバーレベルの設定値に従って中音域だけ減衰して出力されます。



ノーマルトークオーバーモード：マイクチャンネル以外の音声が、トークオーバーレベルの設定値に従って減衰して出力されます。



- 初期設定ではアドバンスド・トークオーバーモードに設定されています。

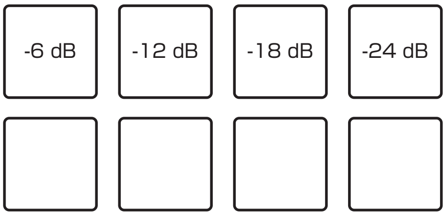
左側デッキの [GRID SLIDE] ボタンを押す

- [**GRID SLIDE**] ボタン点灯：アドバンスド・トークオーバーモード
- [**GRID SLIDE**] ボタン消灯：ノーマル・トークオーバーモード

トークオーバー機能のレベルを変更する

トークオーバー機能の音声減衰レベルを設定します。
- 初期設定は -18 dB に設定されています。

左側のパフォーマンスパッドを押して、設定を選ぶ
どのパッドが点灯しているかにより、現在選ばれている設定が分かります。



クロスフェーダーのカットラグを調整する

クロスフェーダー両端の遊び(カットラグ)を調整します。0 (0.74 mm) から 52 (5.94 mm) まで 0.1 mm 単位で調整できます。
- 初期設定では 6 (1.34mm) に設定されています。

左側デッキのロータリーセレクターを回す
チャンネルレベルインジケーターの点灯状態で現在の設定値 (0 から 52) を表示します。
- [**CH3**] チャンネルレベルインジケーターの点灯個数:10 の位
- [**CH1**] チャンネルレベルインジケーターの点灯個数:1 の位

ブースモニターへのマイク出力を設定する

- 初期設定では [**BOOTH OUT**] 端子からマイク音声を出力する設定になっています。

左側デッキの [BACK (VIEW)] ボタンを押す
- [**BACK (VIEW)**] ボタンの点灯:[**BOOTH OUT**] 端子からマイク音声を出力する
- [**BACK (VIEW)**] ボタンの消灯:[**BOOTH OUT**] 端子からマイク音声を出力しない

ピークリミッターの設定を変更する

マスター出力の急激で不快なデジタルクリップの発生を緩和します。
- 初期設定ではピークリミッターは有効に設定されています。

左側デッキの [LOAD PREPARE (AREA)] ボタンを押す
- [**LOAD PREPARE (AREA)**] ボタンの点灯:ピークリミッター有効
- [**LOAD PREPARE (AREA)**] ボタンの消灯:ピークリミッター無効

ジョグリングの明るさを調整する

ジョグダイヤル外周部のイルミネーションの明るさを切り換えることができます。
- 左右デッキの両方のジョグダイヤルに同じ設定が適用されます。
- 初期設定は明るい点灯です。

ジョグダイヤルの天面を押す
ジョグダイヤルの天面を押すたびに、設定が切り換わります。
明るい点灯、暗めの点灯、消灯の 3 段階から設定でき、ジョグリングの点灯状態により現在の設定値が分かります。

設定ユーティリティーについて

設定ユーティリティーを使って以下の内容を確認および設定できます。
— 本機の入力切換スイッチの状態を確認する
— 本機からコンピューターへの音声データ出力を設定する
— バッファサイズを調整する (ASIO 使用時)
— ドライバソフトウェアのバージョンを確認する

設定ユーティリティーを表示する

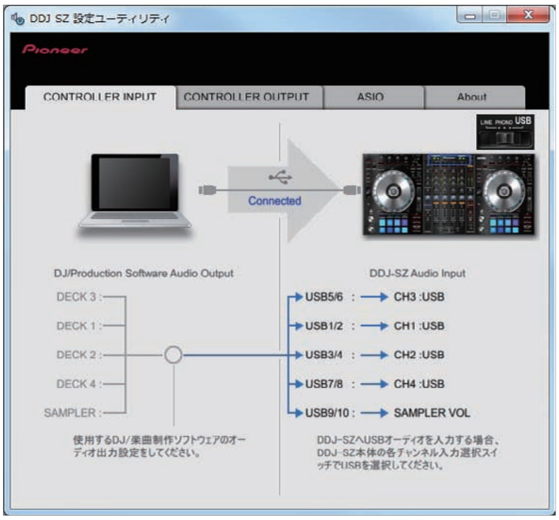
Windows のとき
[スタート] メニュー >[**すべてのプログラム**]>[Pioneer]>[**DDJ-SZ**]>[**DDJ-SZ 設定ユーティリティ**] をクリックする

Mac OS X のとき
[**Macintosh HD**] アイコン >[**Application**]>[Pioneer]>[**DDJ-SZ**]>[**DDJ-SZ 設定ユーティリティ**] をクリックする

本機の入力切換スイッチの状態を確認する

あらかじめ設定ユーティリティーを表示してください。

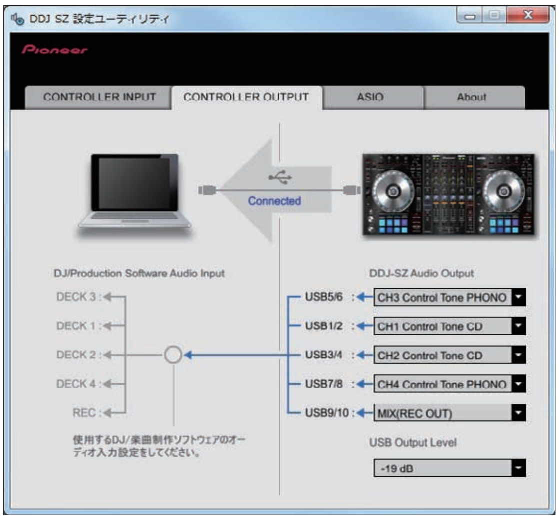
[CONTROLLER INPUT] タブをクリックする



本機からコンピューターへの音声データ出力を設定する

本機を既定のオーディオデバイスとして使用している Serato DJ が起動しているときは、Serato DJ 側で音声データの出力を設定してください。
あらかじめ設定ユーティリティーを表示してください。

1 [CONTROLLER OUPUT] タブをクリックする



2 [DDJ-SZ Audio Output] のプルダウンメニューをクリックする
本機内部の音声信号の流れの中から、コンピューターへ出力する音声データを選んで設定します。

CH1 (USB1/2)	CH2 (USB3/4)	CH3 (USB5/6)	CH4 (USB7/8)	CH5 (USB9/10)
—	—	CH3 Control Tone PHONO [1]	CH4 Control Tone PHONO [1]	MIX (REC OUT) [2]
CH1 Control Tone CD [1]	CH2 Control Tone CD [1]	CH3 Control Tone LINE [1]	CH4 Control Tone LINE [1]	Cross Fader A [2]
Post CH1 Fader [2]	Post CH2 Fader [2]	Post CH3 Fader [2]	Post CH4 Fader [2]	Cross Fader B [2]
Cross Fader A [2]	Cross Fader A [2]	Cross Fader A [2]	Cross Fader A [2]	MIC
Cross Fader B [2]	Cross Fader B [2]	Cross Fader B [2]	Cross Fader B [2]	Post CH1 Fader [2]
MIC	MIC	MIC	MIC	Post CH2 Fader [2]
—	—	—	—	Post CH3 Fader [2]
—	—	—	—	Post CH4 Fader [2]

[1] [**USB Output Level**] の設定に関係なく本機に入力された音量のまま出力されます。
[2] 録音用途以外で使うときは、音声のループが発生しないよう DJ アプリケーションの設定に注意してください。音声のループが発生すると、意図していない音量の音声が入出力される可能性があります。
- Serato DJ 接続時、**CH5** の設定は [**MIX (REC OUT)**] 以外に変更できません。

3 [**USB Output Level**] のプルダウンメニューをクリックする

本機から出力される音声データの音量を調節します。

- [**USB Output Level**] の設定はすべての音声データに対して共通です。ただし、手順 2 の表の 1 を選んでいるときは本機に入力された音量のまま出力されます。
- DJ ソフトウェアの音量調節だけで十分な音量が得られないときは、[**USB Output Level**] を変更して本機から出力される音声データの音量を調節してください。音量を上げすぎると音声が歪むことがありますのでご注意ください。

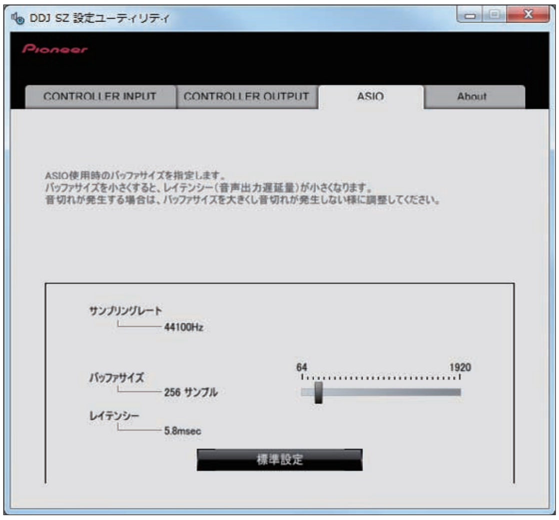
バッファサイズを調整する (ASIO 使用時)

この機能は OS に Windows をお使いのお客様のみご利用いただけます。

本機を既定のオーディオデバイスとして使っているアプリケーション（DJ ソフトウェアなど) が起動しているときは、そのアプリケーションを終了させてからバッファサイズを調整してください。

あらかじめ設定ユーティリティーを表示してください。

[ASIO] タブをクリックする



- バッファサイズを大きくすると、音声データの脱落 (音とぎれ) などが生じにくくなりますが、音声データの伝送遅延 (レイテンシー) によるタイムラグが増大します。

ドライバソフトウェアのバージョンを確認する

あらかじめ設定ユーティリティーを表示してください。

[About] タブをクリックする

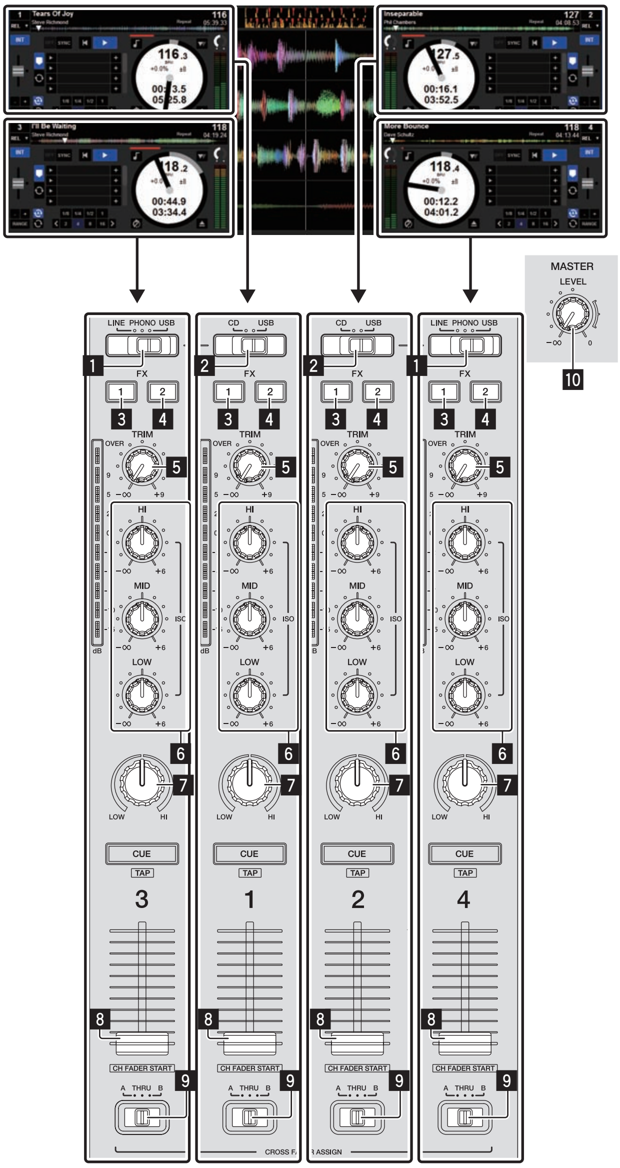
DVS システムを使う

本機は、Serato DJ ソフトウェアとコントロールディスク（別売）[1] で、使い慣れたアナログプレーヤー（ターンテーブル）や DJ プレーヤーで、デジタル音楽ファイルの操作が可能になります。

[1] デジタル音楽ファイルを操作するのに必要な信号が収録された特殊な CD/ レコードです。

Serato DJ ソフトウェアをコントロールする前に

入力チャンネルについて



1 **LINE, PHONO, USB 切換スイッチ**

2 **CD, USB 切換スイッチ**

3 **FX 1 アサインボタン**

4 **FX 2 アサインボタン**

5 **TRIM ツマミ**

6 **ISO（HI、MID、LOW）ツマミ**

7 **COLOR ツマミ**

8 **チャンネルフェーダー**

9 **クロスフェーダーアサイン切換スイッチ**

10 **MASTER LEVEL ツマミ**

Serato DJ ソフトウェアの [**DECK1**] ～ [**DECK4**] で再生される音は、本機の各 CH に入力されます。

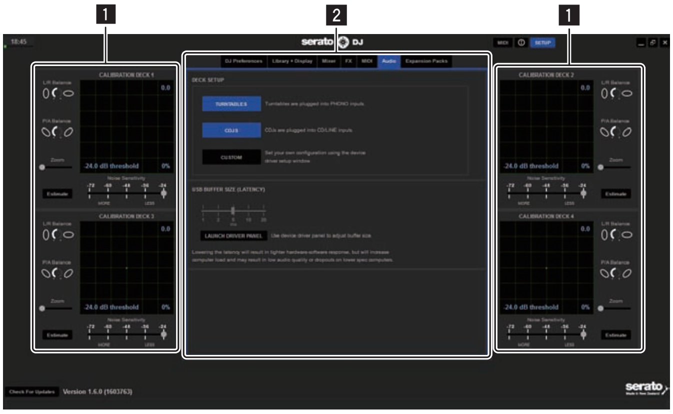
以下のように、ツマミなどの位置を設定してください

ツマミなどの名称	位置
LINE, PHONO, USB 切換スイッチ **CD, USB** 切換スイッチ	USB
TRIM ツマミ	左に回しきった位置
ISO（**HI**, **MID**, **LOW**）ツマミ	中心位置
COLOR ツマミ	中心位置
チャンネルフェーダー	手前側の位置
クロスフェーダーアサイン切換スイッチ	[**THRU**] の位置
MASTER LEVEL ツマミ	左に回しきった位置

❖ Serato DJ の設定画面について

Serato DJ ソフトウェアと本機が接続されているときのコンピューター画面 (SETUP 画面)

この画面は、ドライバソフトウェアをインストールしたあとに、コンピューターと本機を接続したときの SETUP 画面です。



1 CALIBRATION DECK

Serato DJ ソフトウェアは、コントロールディスクからアナログの信号を算出し、デジタルオーディオファイルの信号処理をします。

使う環境ごとに、異なる信号レベルや機器の状態を算出し、コントロール信号の読み取りに最適な設定ができます。

- CALIBRATION DECK が表示されていないときは、[**Expansion Packs**] タブをクリックし、リストの中から [**Vinyl/CDJ Control**] を選択し、[**Enable Vinyl/CDJ control**] チェックボックスにチェックを入れてください。

2 ユーティリティー設定

システム全般にかかわる設定や、細かい動作設定などのユーティリティー設定ができます。

Serato DJ ソフトウェアをコントロールする

ここでは、使う環境に合わせ 3 通りの接続を説明しています。

- アナログプレーヤーと DJ プレーヤーを同時に使う場合は、29 ページにお進みください。
- DJ プレーヤーのみを使う場合は、29 ページにお進みください。
- カスタム設定を使う場合は、30 ページにお進みください。
- 使う環境に合った接続の説明を読み終えたら、「コントロール信号の確認」(p.30) にお進みください。

アナログプレーヤーと DJ プレーヤーを同時に使う場合

ここでは、Serato DJ ソフトウェアの [**DECK1**] と [**DECK2**] を DJ プレーヤーで操作し、Serato DJ ソフトウェアの [**DECK3**] と [**DECK4**] をアナログプレーヤーで操作する場合の設定方法を説明します。

- アナログプレーヤーのみを使う場合も、この章を参照してください。
- DJ プレーヤー 3 台とアナログプレーヤー 1 台を本機と接続する場合は、30 ページの「カスタム設定を使う場合」をご覧ください。

1 [DECK1] をコントロールする DJ プレーヤーと [CH1] の [CD] 端子を、[DECK2] をコントロールする DJ プレーヤーと [CH2] の [CD] 端子を、それぞれ接続する

- 接続方法については、6 ページの「接続する」をご覧ください。

2 [DECK3] をコントロールするアナログプレーヤーと [CH3] の [PHONO] 端子を、[DECK4] をコントロールするアナログプレーヤーと [CH4] の [PHONO] 端子を、それぞれ接続する

- 接続方法については、6 ページの「接続する」をご覧ください。

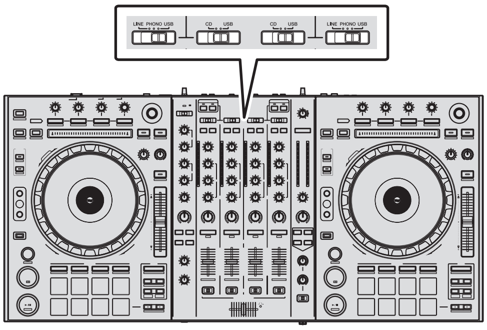
3 それぞれのアナログプレーヤーのアース線を、本機の [SIGNAL GND] 端子と接続する

4 DJ プレーヤーに CONTROL CD をセットする

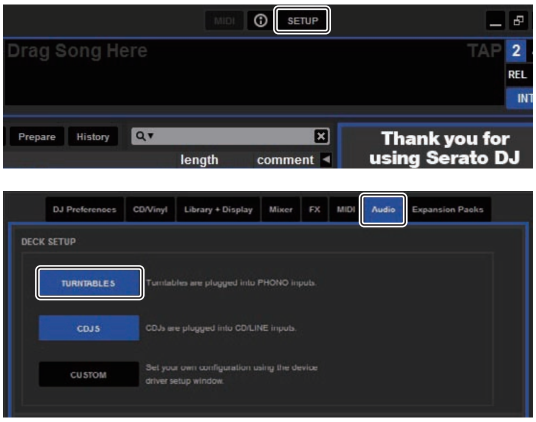
5 アナログプレーヤーに CONTROL VINYL をセットする

6 DDJ-SZ の入力を切り換える

[**CH1**] から [**CH4**] の入力切換スイッチを、[**USB**] に切り換えてください。



7 Serato DJ ソフトウェアの画面上の [SETUP] を選択し、ユーティリティー設定の [Audio] タブ内にある [TURNTABLES] を選択する



[**TURNTABLES**] を選択すると、同時に [**CDJS**] も選択されます。

DJ プレーヤーのみを使う場合

ここでは、Serato DJ ソフトウェアの [**DECK1**] から [**DECK4**] を、DJ プレーヤーで操作する場合の設定方法を説明します。

1 [DECK1] をコントロールする DJ プレーヤーと [CH1] の [CD] 端子を、[DECK2] をコントロールする DJ プレーヤーと [CH2] の [CD] 端子を、それぞれ接続する

- 接続方法については、6 ページの「接続する」をご覧ください。

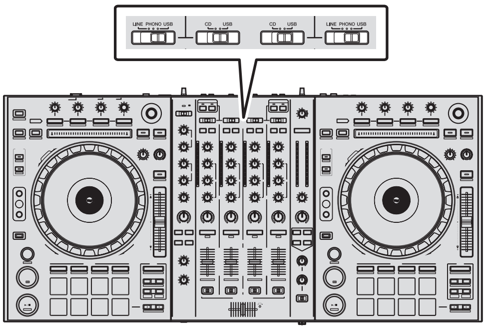
2 [DECK3] をコントロールする DJ プレーヤーと [CH3] の [LINE] 端子を、[DECK4] をコントロールする DJ プレーヤーと [CH4] の [LINE] 端子を、それぞれ接続する

- 接続方法については、6 ページの「接続する」をご覧ください。

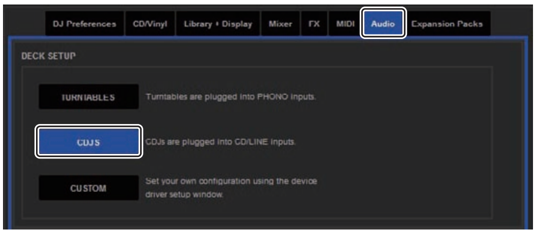
3 DJ プレーヤーに CONTROL CD をセットする

4 DDJ-SZ の入力を切り換える

[**CH1**] から [**CH4**] の入力切換スイッチを、[**USB**] に切り換えてください。



5 Serato DJ ソフトウェアの画面上の [SETUP] を選択し、ユーティリティー設定の [Audio] タブ内にある [CDJS] を選択する



カスタム設定を使う場合

前述以外の設定で、DVS 再生を行う場合に、カスタム設定を選択します。
ここでは、カスタム設定の例として Serato DJ ソフトウェアの [**DECK1**] から [**DECK3**] を DJ プレーヤーで操作し、Serato DJ ソフトウェアの [**DECK4**] をアナログプレーヤーで操作する場合の設定方法を説明します。

1 [DECK1] をコントロールする DJ プレーヤーと [CH1] の [CD] 端子を、[DECK2] をコントロールする DJ プレーヤーと [CH2] の [CD] 端子を、それぞれ接続する

- 接続方法については、6 ページの「接続する」をご覧ください。

2 [DECK3] をコントロールする DJ プレーヤーと [CH3] の [LINE] 端子を接続する

- 接続方法については、6 ページの「接続する」をご覧ください。

3 [DECK4] をコントロールするアナログプレーヤーと [CH4] の [PHONO] 端子を接続する

- 接続方法については、6 ページの「接続する」をご覧ください。

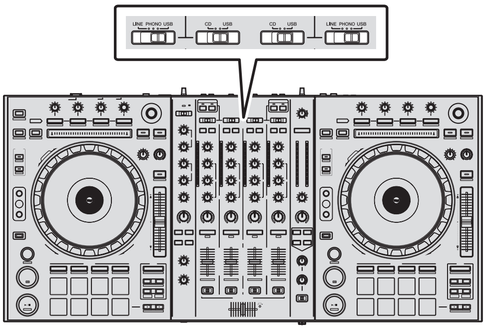
4 アナログプレーヤーのアース線を、本機の [SIGNAL GND] 端子と接続する

5 DJ プレーヤーに CONTROL CD をセットする

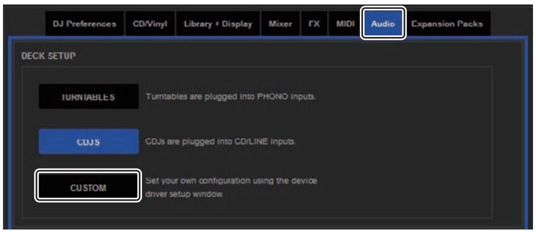
6 アナログプレーヤーに CONTROL VINYL をセットする

7 DDJ-SZ の入力を切り換える

[**CH1**] から [**CH4**] の入力切換スイッチを、[**USB**] に切り換えてください。

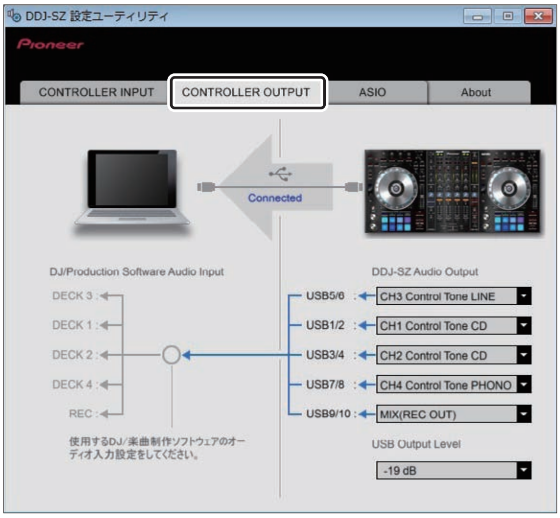


8 Serato DJ ソフトウェアの画面上の [SETUP] を選択し、ユーティリティー設定の [Audio] タブ内にある [CUSTOM] を選択する



選択すると、DDJ-SZ 設定ユーティリティーが表示されます。

9 設定ユーティリティー内の [CONTROLLER OUPUT] タブを選択し、接続している CH に対応する [DDJ-SZ Audio Output] のプルダウンから、DJ プレーヤーを使う [USB1/2] と [USB3/4] は [CH* Control Tone CD] を、[USB5/6] は [CH3 Control Tone LINE] を、アナログプレーヤーを使う [USB7/8] は [CH4 Control Tone PHONO] を選択する



コントロール信号の確認

1 Serato DJ ソフトウェアの画面上の [SETUP] を選択し、ユーティリティー設定の画面を表示させる

2 接続したプレーヤーの再生ボタンを押し、トラック 1 を再生する

[**CALIBRATION DECK**] に緑の輪が表示されます。
一番内側の輪が、正円に近い状態になっていることを確認してください。

詳しくは、Serato DJ ソフトウェアマニュアルを確認してください。
Serato DJ ソフトウェアマニュアルは、下記の Pioneer DJ サポートサイトからダウンロードできます。
[**DDJ-SZ**] の [**ソフトウェア対応情報**] を参照してください。
http://pioneerdj.com/support/

ABS、REL モード時の機能制限

ABS、REL 各モード使用時に動作しない機能については、下記一覧をご覧ください。

パフォーマンスパッド機能	REL	ABS
ホットキュー	○	○[1]
ロール	○	×
スライサー	○	×
サンプラー	○	○
キュールーブ	○	×
セーブドループ	○	×
スライサーループ	○	×
サンプラーベロシティ	○	○

ループ機能	REL	ABS
オートループ	○	×
ループ 1/2	○	×
ループ× 2	○	×
ループイン	○	×
ループアウト	○	×

PLAY/CUE 機能	REL	ABS
プレイ / ポーズ	×	×
キュー	○	×

ジョグ機能	REL	ABS
スクラッチ	×	×
ピッチベンド	○	×

TEMPO スライダー機能	REL	ABS
スライダー	×	×
キーロック	○	○
テンポリセット	×	×
ストップタイム	×	×

ニードルサーチ機能	REL	ABS
ニードルサーチ	○	×

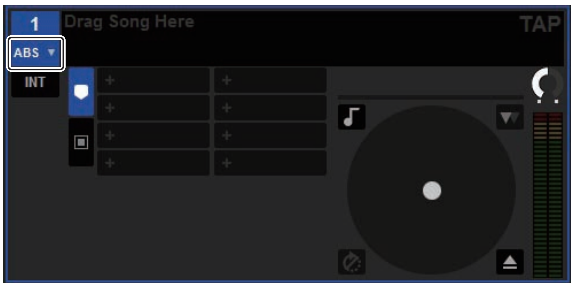
○ 有効、× 無効

[1] ホットキューの設定のみ可能です。（トリガー再生はできません。）

再生モードの選択

Serato DJ ソフトウェアは用途に合わせて、3 つの再生モードを用意しています。デッキ部で、[**ABS**]、[**REL**] および [**INT**] に選択できます。
ここでは、再生モードを [**ABS**] モードにする例を説明します。

デッキ部のタブで、[ABS] を選択する



各再生モードの説明は、Serato DJ ソフトウェアマニュアルを確認してください。
Serato DJ ソフトウェアマニュアルは、下記の Pioneer DJ サポートサイトからダウンロードできます。
[**DDJ-SZ**] の [**ソフトウェア対応情報**] を参照してください。
http://pioneerdj.com/support/

楽曲をインポートする

詳しくは、15 ページの「楽曲をインポートする」をご覧ください。

楽曲を再生する

- [**MASTER OUT 1**] 端子および [**MASTER OUT 2**] 端子に接続している機器（パワーアンプ、パワードスピーカーなど）のボリュームを適切に設定してください。ボリュームを上げすぎると大音量で音声が出力されますのでご注意ください。

1 接続したプレーヤーの再生ボタンを押し、トラック 1 を再生する

Serato DJ ソフトウェアの楽曲が再生されます。

2 [TRIM] ツマミを回す

チャンネルレベルインジケーターのオレンジ色のインジケーターがピークレベルで点灯するように [**TRIM**] ツマミを回して調整してください。

3 チャンネルフェーダーを奥側に動かす

4 [MASTER LEVEL] ツマミを回して、スピーカーの音声レベルを調整する

[**MASTER OUT 1**] 端子および [**MASTER OUT 2**] 端子から出力される音声レベルを適切な音量に調整します。

メモ

本機と Serato DJ ソフトウェアは、個性的な DJ プレイを可能にする多くの機能が搭載されています。それぞれの機能について、詳しくは Serato DJ のソフトウェアマニュアルをご覧ください。

- Serato DJ ソフトウェアマニュアルは、下記の Pioneer DJ サポートサイトからダウンロードできます。
  [**DDJ-SZ**] の [**ソフトウェア対応情報**] を参照してください。
  http://pioneerdj.com/support/

その他

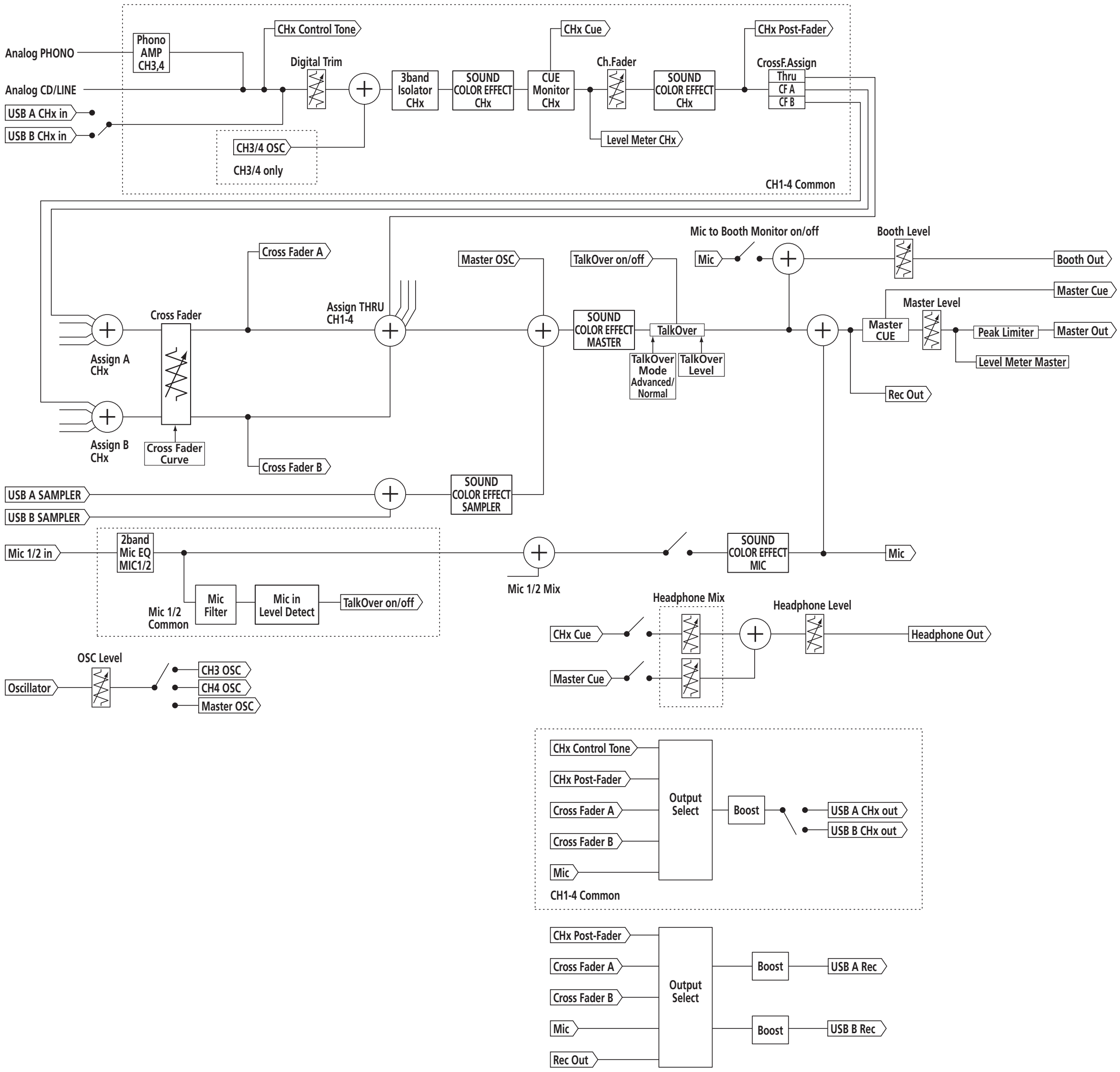
故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったら、下記の項目および Pioneer DJ サポートサイトへアクセスして、[**DDJ-SZ**] の [**よくある質問**] を確認してください。
  また、本機と接続している機器もあわせて確認してください。それでも正常に動作しないときは、35 ページの「保証とアフターサービス」をお読みのうえ、販売店にお問い合わせください。
- 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源をオフにしてから 1 分後に再度電源をオンにすることで正常に動作することがあります。

こんなときは	ここを確認してください	対応の仕方
電源が入らない。	電源の [⏻] スイッチはオンになっていますか？	電源の [⏻] スイッチをオンにしてください。
	電源コードが正しく接続されていますか？	電源コードをコンセントへ接続してください。（6 ページ）
本機が認識されない。	付属の USB ケーブルが正しく接続されていますか？	付属の USB ケーブルを正しく接続してください。
	USB ハブを使っていませんか？	USB ハブは使えません。コンピューターと本機を付属の USB ケーブルで直接接続してください。
	ドライバソフトウェアは正しく設定されていますか？	ドライバソフトウェアを正しく設定してください。（4 ページ）
ライブラリにトラックが表示されない。	音楽ファイルをインポートしていますか？	音楽ファイルをインポートしてください。 インポート方法の詳細については、Serato DJ のソフトウェアマニュアルをご覧ください。
	トラックが入っていない crate または subcrate を選んでいませんか？	トラックが入っている crate または subcrate を選ぶか、crate または subcrate にトラックを追加してください。
ライブラリに iTunes の曲が表示されない。	[**SETUP**] メニューの [**Library+Display**] タブの中の [**Show iTunes Library**] にチェックが入っていますか？	[**Show iTunes Library**] にチェックを入れてください。 インポート方法の詳細については、Serato DJ のソフトウェアマニュアルをご覧ください。
	トラックが入っていない crate または subcrate を選んでいませんか？	トラックが入っている crate または subcrate を選ぶか、crate または subcrate にトラックを追加してください。
曲名の修正など、ライブラリの音楽ファイルの編集ができない。	[**SETUP**] メニューの [**Library+Display**] タブの中の [**Protect Library**] が有効になっていませんか？	[**Protect Library**] を無効にしてください。
録音できない。	録音レベルが低くなっていませんか？	Serato DJ ソフトウェアの [**REC**] パネル内にあるゲインツマミを調整してください。
	録音したあとで保存していますか？	録音したあとで保存してください。 録音方法の詳細については、Serato DJ のソフトウェアマニュアルをご覧ください。
音が出ない、または音が小さい。	[**TRIM**] ツマミ、チャンネルフェーダー、クロスフェーダー、[**LINE, PHONO, USB**] 切換スイッチ (または [**CD, USB**] 切換スイッチ) および [**MASTER LEVEL**] ツマミが正しい位置に設定されていますか？	[**TRIM**] ツマミ、チャンネルフェーダー、クロスフェーダー、[**LINE, PHONO, USB**] 切換スイッチ (または [**CD, USB**] 切換スイッチ) および [**MASTER LEVEL**] ツマミを正しい位置に設定してください。
	接続しているパワードスピーカーなどは正しく設定されていますか？	パワードスピーカーなどの外部入力切換や音量を正しく設定してください。
	接続ケーブルが正しく接続されていますか？	接続ケーブルを正しく接続してください。
	端子やプラグが汚れていませんか？	端子やプラグの汚れを拭き取ってから接続してください。
	ドライバソフトウェアは正しく設定されていますか？	ドライバソフトウェアを正しく設定してください。（4 ページ）
音が歪む。	[**MASTER LEVEL**] ツマミが正しい位置に設定されていますか？	マスターレベルインジケーターのオレンジ色のインジケーターがピークレベルで点灯するように [**MASTER LEVEL**] ツマミを調整してください。
	[**TRIM**] ツマミが正しい位置に設定されていますか？	チャンネルレベルインジケーターのオレンジ色のインジケーターがピークレベルで点灯するように [**TRIM**] ツマミを調整してください。
DJ ソフトウェアを使っているとき再生中の音声がとぎれる。	ドライバソフトウェアのレイテンシーの値は適切ですか？	ドライバソフトウェアのレイテンシーの値を適切に設定してください。
		DJ ソフトウェアのレイテンシーの値を適切に設定してください。
マイクの音声を出力できない。	[**OFF**, **ON**, **TALK OVER**] 切換スイッチが正しい位置に設定されていますか？	[**OFF**, **ON**, **TALK OVER**] 切換スイッチを正しい位置に設定してください。
外部機器の音声を出力できない。	[**LINE, PHONO, USB**] 切換スイッチ (または [**CD, USB**] 切換スイッチ) が正しい位置に設定されていますか？	[**LINE, PHONO, USB**] 切換スイッチ (または [**CD, USB**] 切換スイッチ) を正しい位置に設定してください。
ASIO ドライバを設定すると音がとぎれる。	Serato DJ を起動したまま ASIO ドライバを設定していませんか？	ASIO ドライバは Serato DJ を起動する前に設定してください。（27 ページ）
インジケーターが点滅して動作がおかしくなった。	–	電源コードを一度抜いて 1 分以上たってから再び差し込むことで正常に動作することがあります。それでも同じ症状が現れるときは、電源コードを抜いてから修理を依頼してください。
Serato DJ の動作が不安定になる。	ソフトウェアのバージョンは最新になっていますか？	Serato DJ の無料アップデートをウェブサイトよりダウンロードできます。最新のバージョンをご利用ください。（4 ページ）
	Serato DJ 以外のソフトウェアを同時使用していませんか？	コンピューターの負荷を減らすために、他のアプリケーションを終了してください。 それでも不安定な状態が続く場合は、ワイヤレスネットワークなどの無線接続、ウィルス対策ソフト、スクリーン・セーバー、省電力モードなどを無効にしてみてください。（4 ページ）
	コンピューターに他の USB 機器を接続している。	他の USB 機器をコンピューターから外してください。 他の USB オーディオデバイスと同時にコンピューターに接続すると、正常に動作および認識されないことがあります。
	USB ハブを使っていませんか？	USB ハブは使えません。コンピューターと本機を付属の USB ケーブルで直接接続してください。
	本機が接続されている USB 端子に不具合がある。	お使いのコンピューターに複数の USB 端子がある場合は、別の USB 端子に接続してみてください。
	バッテリー駆動させているノートブック型コンピューターに接続していませんか？	ノートブック型コンピューターにコンセントから電源供給してください。 (ノートブック型コンピューターの設定によっては、バッテリー駆動中に省電力にするため、コンピューター自体のパフォーマンスを自動的に落とす場合があります。) (4 ページ)
	USB のバッファサイズが小さい。	USB バッファサイズを上げてみてください。（27 ページ）
ジョグイルミネーションが再生中に回転しない。（スクラッチ操作では回転する。） SYNC しているときにデッキを切り換えると、[**TEMPO**] スライダーの操作が効かない。(TAKEOVER インジケーターが点灯する。)	ユーティリティーモードの設定が間違っていませんか？	ユーティリティーモードで、強制的に一般的な MIDI コントローラーとして動作するように設定されていないことを確認してください。

こんなときは	ここを確認してください	対応の仕方
フェーダースタートが動作しない。	キューが設定されていますか？	キューを設定してください。（19 ページ）
	ユーティリティーモードの設定が間違っていませんか？	ユーティリティーモードでフェーダースタートの設定を、「SYNC 設定有りのフェーダースタート」または「SYNC 設定無しのフェーダースタート」にしてください。
BPM が表示されない。 SYNC 機能、オートループ機能が動作しない。	曲が解析されていますか？	曲を解析してください。
	オフラインプレーヤーの設定で [**Set Auto BPM**] にチェックが入っていますか？	[**Set Auto BPM**] にチェックを入れた状態で再度、曲を解析してください。 曲の解析方法についての詳細は、Serato DJ のソフトウェアマニュアルをご覧ください。
BPM は表示されるがビートグリッドが表示されない。 スライサー機能が動作しない。 スキップモードが動作しない。	オフラインプレーヤーの設定で [**Set Auto BPM**] と [**Set Beatgrid**] にチェックが入っていますか？	[**Set Auto BPM**] と [**Set Beatgrid**] にチェックを入れた状態で、再度、曲を解析してください。 曲の解析方法についての詳細は、Serato DJ のソフトウェアマニュアルをご覧ください。
		ビートグリッドを設定してください。ビートグリッドの設定方法の詳細については、Serato DJ のソフトウェアマニュアルをご覧ください。 本機の [**GRID ADJUST**] ボタン、[**GRID SLIDE**] ボタンでビートグリッドの設定をすることもできます。（9 ページ）
BPM やビートグリッドが正しく表示されていない。 ビートグリッドがずれている。	オフラインプレーヤーの設定で BPM 解析範囲は適切に設定されていますか？	BPM 解析範囲を変更してから、再度、曲を解析してください。それでも解決しない場合は手動でビートグリッドや BPM を設定してください。
		ビートグリッドを調整してください。ビートグリッドの調整方法の詳細については、Serato DJ のソフトウェアマニュアルをご覧ください。 本機の [**GRID ADJUST**] ボタン、[**GRID SLIDE**] ボタンでビートグリッドの調整をすることもできます。
		曲の再生中に [**SHIFT**] ボタンを押しながらヘッドホン [**CUE**] ボタンをビートに合わせてたたいてください（TAP 機能）。曲の BPM やビートグリッドを調整できます。 タップ機能を使うと、コンピューター画面のデッキ部の表示が [**Beatgrid Editor**] 表示に切り換わります。デッキ部の表示を元に戻すには、コンピューター画面の [**Edit Grid**] をクリックします。（10 ページ）
USB コネクトインジケーターが点滅する。	ドライバソフトウェアは正しく設定されていますか？	ドライバソフトウェアを正しく設定してください。（4 ページ）

シグナルフロー



マニュアルを入手する

各操作説明書はPDF形式のファイルで作成されている場合があります。PDF形式のファイルをご覧いただくには、Adobe® Reader® をインストールする必要があります。Adobe Reader をお持ちでないお客様はCD-ROMのメニュー画面のダウンロードリンクからインストールを行ってください。

最新版の取扱説明書をダウンロードする

1 CD-ROMをコンピューターの光学ドライブに挿入する

CD-ROMのメニューが表示されます。
CD-ROMを挿入してもCD-ROMのメニューが表示されないときは、以下に従って操作してください。

- Windowsのとき
  [**スタート**] メニューの [**コンピューター** (または**マイコンピュータ**)] から光学ドライブを開き [**CD_menu.exe**] のアイコンをダブルクリックしてください。
- Mac OS Xのとき
  Finderで直接 [**CD_menu.app**] のアイコンをダブルクリックしてください。

2 CD-ROMのメニューが表示されたら、[DDJ-SZ: 取扱説明書をダウンロードする（PDFファイル）] を選んでから [開始] をクリックする

3「接続にはインターネット環境が必要です。インターネットに接続しますか？」と表示されるので、[はい] をクリックする

ウェブブラウザーが起動し、Pioneer DJサポートサイトが表示されます。

4 Pioneer DJサポートサイトで「DDJ-SZ」の「取扱説明書」をクリックする

5 ダウンロードページの中から必要な言語をクリックする

取扱説明書のダウンロードが始まります。

Serato DJのソフトウェアマニュアルをダウンロードする

1 CD-ROMをコンピューターの光学ドライブに挿入する

CD-ROMのメニューが表示されます。
CD-ROMを挿入してもCD-ROMのメニューが表示されないときは、以下に従って操作してください。

- Windowsのとき
  [**スタート**] メニューの [**コンピューター** (または**マイコンピュータ**)] から光学ドライブを開き [**CD_menu.exe**] のアイコンをダブルクリックしてください。
- Mac OS Xのとき
  Finderで直接 [**CD_menu.app**] のアイコンをダブルクリックしてください。

2 CD-ROMのメニューが表示されたら、[Serato DJ: ソフトウェア マニュアルをダウンロードする（PDFファイル）] を選んでから [開始] をクリックする

3「接続にはインターネット環境が必要です。インターネットに接続しますか？」と表示されるので、[はい] をクリックする

ウェブブラウザーが起動し、Pioneer DJサポートサイトが表示されます。

- CD-ROMのメニューを終了させるときは、[**終了**] をクリックしてください。

4 Pioneer DJサポートサイトで [DDJ-SZ] の [ソフトウェア対応情報] をクリックする

5 Serato DJのダウンロードページへのリンクをクリックする

Serato DJのダウンロードページが表示されます。

6「Serato.com」のユーザーアカウントでログインする

登録したE-mailアドレスおよびパスワードを入力し、「Serato.com」にログインします。

7 ダウンロードページの右側にある「More Downloads」の中から「Serato DJ x.x.x Manual」をクリックしてください

Serato DJのソフトウェアマニュアルのダウンロードが始まります。

他のDJソフトウェアのコントローラーとして使用する

本機は、ボタンやツマミなどの操作情報を汎用のMIDI形式でも出力します。MIDI対応のDJソフトウェアをインストールしたコンピューターとUSBケーブルを使って接続すると、本機でDJソフトウェアを操作できます。また、コンピューターで再生している音楽ファイルの音声を本機から出力できます。
Serato DJソフトウェア以外のDJソフトウェアを操作するコントローラーとして使用するときは、ユーティリティーモードでSerato DJ以外のソフトウェアを使う設定に変更してください。また、DJソフトウェアのオーディオおよびMIDIに関する設定も行ってください。

- 詳しくは、お使いのDJソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

MIDIメッセージについて

本機のMIDIメッセージについては、「MIDIメッセージ一覧」をご覧ください。

- 「MIDIメッセージ一覧」は下記のURLより入手できます。
  http://pioneerdj.com/support/

ドライバソフトウェアについて

本ドライバソフトウェアは、コンピューターからの音声を出力するための専用ドライバです。

- はじめに34ページの「ソフトウェア使用許諾契約書」をよくお読みください。

動作環境

対応OS		
Mac OS X 10.9 / 10.8 / 10.7 / 10.6		○
Windows® 8/Windows® 8 Pro	32ビット版	○
	64ビット版	○
Windows® 7 Home Premium/Professional/Ultimate	32ビット版	○
	64ビット版	○
Windows Vista® Home Basic/Home Premium/Business/Ultimate	32ビット版	○
	64ビット版	○

ドライバソフトウェアの最新情報を確認する

本機の専用ドライバソフトウェアの最新情報については、下記のPioneer DJサポートサイトを参照してください。
http://pioneerdj.com/support/

❖ ソフトウェア使用許諾契約書

このソフトウェア使用許諾契約書（以下「本契約」といいます）は、お客様とパイオニア株式会社（以下「当社」といいます）との間における、DJ機器用ソフトウェア（以下「本ソフトウェア」といいます）の使用に関する事項を定めるものです。
本ソフトウェアをインストールし、あるいはご利用になるにあたっては、必ず以下の条項をよくお読み下さい。お客様が本ソフトウェアをご利用になった場合は、本契約に同意されたものとします。もし本契約に同意されない場合には、本ソフトウェアのインストール及びご利用をおやめ下さい。

（使用許諾）
本契約の内容に従うことを条件として、お客様は、本ソフトウェアを一台のパーソナル・コンピュータ又は携帯端末にインストールして使用することができます。

（制限事項）
お客様は、本ソフトウェアの複製物を作成しあるいは配布し、またはネットワークを通じあるいは一台のコンピュータから別のコンピュータに送信してはなりません。また、お客様は、本ソフトウェアの改変、販売、貸与、譲渡、転売、本ソフトウェアの二次的著作物の頒布又は作成等をすることはできず、さらに、逆コンパイル、リバース･エンジニアリング、逆アセンブルし、その他、人間の覚知可能な形態に変更することもできません。

（著作権等）
本ソフトウェアに関する著作権その他一切の知的財産権は、当社あるいはその関連会社に帰属します。本ソフトウェアは、著作権法及び国際条約の規定により保護されています。

（保証及び技術サポートの否認）
本ソフトウェア及びそれに付随する一切の資料等は、あくまで「現状のまま」提供されます。当社は、お客様や第三者に対して、これらの商品性、特定目的への適合性、他人の権利を侵害しないこと、その他一切の事項について保証せず、また、これらに対する技術サポートを行うこと等も保証しません。なお、国や地域によっては強行法規によってかかる保証の否認が認められないことがありますので、その場合には、かかる保証の否認は適用されないことがあります。また、お客様の権利は、国や地域によっても異なり得ます。

（責任制限）
当社、その他本ソフトウェアの供給者は、お客様が本ソフトウェア及びこれに付随する一切の資料を使用したこと又は使用できなかったことから生じる一切の損害（利益の逸失、ビジネスの中断、情報の消失･毀損などによる損害を含みますが、これらに限定されません）に関しては、たとえ当社が、そのような損害が生じる可能

性を知らされていた場合であったとしても、一切責任を負いません。国や地域によっては強行法規によって付随的又は間接損害に対する責任の制限が認められないことがありますので、その場合には、かかる責任制限は適用されないことがあります。なお、いかなる場合においても、本ソフトウェアに関する当社またはその子会社の責任は、お客様が当社またはその子会社に対して支払った金額を超えないものとします。かかる保証の否認や責任制限は、お客様と当社との間の取り決めにおける基本的な要素です。

(輸出規制法令の遵守)

お客様は、アメリカ合衆国の法令及び本ソフトウェアを取得された国の法令が認めている場合を除き、本ソフトウェアを使用または輸出もしくは再輸出することはできません。また、本ソフトウェアを、次のいずれの者に対しても、輸出または再輸出することはできません。
(a) アメリカ合衆国の通商禁止国
(b) アメリカ合衆国財務省の禁止顧客リスト (Specially Designated Nationals List) 上の一切の者、及びアメリカ合衆国商務省の禁止顧客リスト (Denied Person's List or Entity List) 上の一切の者
お客様は、本ソフトウェアを使用することにより、上記 (a) に該当する国に居住しておらず、また、上記 (b) のリストに掲載されていないことを表明および保証するものとします。また、お客様は、本ソフトウェアをアメリカ合衆国の法令にて禁止されるいかなる目的 (核兵器、ミサイル、化学兵器、または細菌兵器を含みますが、これに限定されません) にも使用しないことに同意されたものとします。

(準拠法)

本契約は、日本国の法令に準拠し、これに基づいて解釈されるものとします。本契約は、本ソフトウェアの使用について、お客様と当社の取り決めのすべてを記載するものであり、本件に関する従前のあらゆる合意 (それが口頭でなされたか文書によりなされたかを問いません) に優先して適用されます。本契約に関連して紛争が生じた場合は、東京地方裁判所を第一審の専属管轄裁判所とします。

保証とアフターサービス

本内容は日本国内モデルのみに適用されます。

修理に関するご質問、ご相談

「取扱説明書 (基礎編)」の巻末に記載の修理受付窓口、またはお買い求めの販売店にご相談ください。

保証書 (別添)

保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。
保証書に販売店名や購入日の記載がない場合は、本製品のご購入の際に受け取られた、購入日が明記されている購入証明書 (レシート、納品書、受注メールなど) が必要となります。保証書とともに大切に保管してください。

保証期間は購入日から 1 年間です。

次のような場合には保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、性能、動作の保証をいたしません。また、故障した場合の修理についてもお受けいたしかねます。
- 本機を改造して使用した場合
- 不正使用や使用上の誤りの場合
- 他社製品や純正以外の付属品と組み合わせて使用したときに、動作異常などの原因が本機以外にあった場合。

故障、故障の修理その他にともなう営業上の機会損失 (逸失利益) は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず補償いたしかねますのでご了承ください。

補修用性能部品の最低保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

本製品の取扱説明書の「故障かな？と思ったら」をお読みいただき、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しないときには、必ず電源プラグを抜いてから、次の要領で修理を依頼してください。

連絡していただきたい内容

- ご住所
- お名前
- お電話番号
- 製品名：DJ コントローラー
- 型番：DDJ-SZ
- お買い上げ日
- 故障または異常の内容
「いつ、どのくらいの頻度で、どのような操作で、どうなる」といった詳細

保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている弊社保証規定に基づき修理いたします。

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

商標および登録商標について

- Pioneer はパイオニア株式会社の登録商標です。
- Microsoft, Windows および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac OS、iTunes、および Finder は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- Intel および Intel Core は、米国および / またはその他の国における Intel Corporation の商標です。
- ASIO は Steinberg Media Technologies GmbH の商標です。
- Serato DJ、Scratch Live、ITCH、Serato DJ Intro は、Serato 社の登録商標です。

その他記載されている会社名および製品名等は、各社の登録商標または商標です。

本製品は非営利的使用のためのみにライセンスされております。営利的目的での (収益の発生するような)、実際の放送 (地上波放送・衛星放送・有線放送・あるいは他のメディアを利用した放送)、インターネットやイントラネット (企業内ネット) あるいは他のネットワークを利用した放送・ストリーミング、またその他の電子的情報を提供するシステム (音楽の有料配信など) のためにはライセンスされておりません。このような使用には個別にライセンスを取得する必要があります。詳しくは http://www.mp3licensing.com をご参照ください。

著作権についてのご注意

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- CD などから録音される音楽は、各国の著作権法ならびに国際条約で保護されています。また、録音した者自身が、それを合法的に使用するうえでのすべての責任を負います。
- インターネットなどからダウンロードされる音楽を取り扱う際は、ダウンロードした者自身が、ダウンロードサイトとの契約に則ってそれを使用するうえでのすべての責任を負います。

— 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
© 2014 パイオニア株式会社　禁無断転載
パイオニア株式会社
〒 212-0031 神奈川県川崎市幸区新小倉 1 番 1 号
<DRJ1025-A>